

平成20年度版

TOURISM OF SAPPORO

札幌の観光

Welcome to Sapporo

ようこそ

きらめく四季の

札幌へ

札幌市

目 次

第1章 札幌市の観光への取り組み

- 1 第2次札幌新まちづくり計画 1
- 2 平成20年度観光文化局観光部の機構・職員数 6
- 3 平成20年度観光部の事業概要 7
- 4 トピックス 15

第2章 観光客の入り込み状況

- 1 平成19年度の動向 17
- 2 観光客の入り込み状況 18

第3章 宿泊施設

- 1 宿泊調査の概要 23
- 2 宿泊施設の状況 24
- 3 宿泊施設利用状況 24
- 4 外国人の宿泊状況 26
- 5 修学旅行生の宿泊状況 30
- 6 定山溪地域の宿泊状況 32

第4章 イベントとコンベンション

- 1 札幌でのイベント開催状況 35
- 2 札幌でのコンベンション開催状況 42

第5章 参考資料

- 1 観光施設の利用状況 43
- 2 定期観光バス利用者数（北海道中央バス） 45
- 3 札幌発着航空路線 46
- 4 気象概況 48
- 5 札幌観光のあゆみ 49
- 6 平成20年度イベントカレンダー 51

本書は、ホームページ「札幌観光行政 (<http://www.city.sapporo.jp/keizai/kanko/index.html>)」で、公開されます。

平成20年度版 **札幌の観光**
平成20年9月発行

市政等資料番号	01-K04-08-632
広報印刷番号	20-1-49
関係部局保存期間	1年

編集・発行 札幌市観光文化局観光部観光企画課
〒060-8611 札幌市中央区北1条西2丁目
TEL (011) 211-2376



さっぽろ市

この冊子は再生紙を使用しています。

第1章 札幌市の観光への取り組み

1 第2次札幌新まちづくり計画

「第2次札幌新まちづくり計画」は、平成19年度から22年度までの4年間を計画期間とした札幌市のまちづくりのプランです。

この計画は、限られた財源を効果的に活用することを念頭に、長期総合計画の基本的方向性や、前計画（札幌新まちづくり計画）策定段階での市民会議における議論を踏まえたまちづくりの方向性に基づいて、施政方針（平成19年6月に公表した「さっぽろ元気ビジョン 第2ステージ」）を実現するための事業を厳選し、特に優先的・重点的に実施すべき施策・事業を定めた計画であり、本市の行財政運営や予算編成における指針の一端を担うものです。

この計画における、観光分野の取り組みとして、「新たな集客交流資源の創出と魅力の発信」という項目が、15の重点課題の一つに設定されています。

その具体的な内容は、以下のとおりです。

重点課題 「新たな集客交流資源の創出と魅力の発信」

《施策の基本方針》

世界の集客交流都市さっぽろの実現を目指し、札幌の魅力である、食や自然、文化芸術などのハード・ソフトの資産を集客交流資源として積極的に活用し、札幌独自の魅力づくりや観光資源の発掘を行うとともに、受入対応を充実するなど、観光やコンベンション※の一層の振興を図ります。

また、道内各市町村とも連携して道内各地の食や観光などの情報を発信する拠点機能を充実するなど、集客交流を推進します。

新たな集客交流資源の
創出と魅力の発信

観光魅力づくりの推進
観光客及びコンベンションの受入強化と誘致促進
道内各市町村と連携した魅力の発信

《施策内容》

■ 観光魅力づくりの推進

さっぽろ雪まつりやライラックまつりなど札幌の四季の魅力を発信するイベントや札幌の代表的な観光スポットである藻岩山などの既存の観光資源について、より多くの観光客が訪れ楽しめるよう、さらなる魅力アップを図ります。

また、大通公園において食をテーマとした秋のイベント事業や冬のスケートリンク設置を行うなど、都心の魅力や美しい都市景観、食や芸術といった札幌独自の魅力を融合させ、新たな観光魅力づくりや観光資源の発掘を推進します。

事業名 (4年間の計画事業費)	事業内容 達成目標
さっぽろ雪まつり 魅力アップ事業	市民参加・体験型雪まつりとして魅力アップを図るため、市民参加のしくみや組織づくりへの支援や子ども向け体験学習事業を実施するほか、駐車場・トイレの増設などおもてなし向上の取り組みを行います。
	○参加団体数 H18：9団体⇒H22：15団体 ○雪まつりの満足度：H18：57.7%⇒H22：70.0%

ライラックまつり 魅力アップ事業	ライラックまつりにおいて、音楽やパフォーマンス*など多彩な札幌文化の楽しみや食の充実を図るほか、中国大連市アカシアまつりとの提携によって相互交流を図り、中国からの観光客誘致につなげていきます。
	○観客数 H18：346,700人⇒H22：500,000人
「ミュンヘン・クリスマス市 in Sapporo」開催費負担 ※総務局国際部所管	姉妹都市ミュンヘン市の伝統行事であるクリスマス市を、ホワイトイルミネーションを実施している大通公園で開催し、ミュンヘンの文化を感じる冬の集客交流イベントとして推進します。
	○来場者数 H18：44.6万人⇒H22：50万人
藻岩山魅力アップ事業	老朽化したロープウェイや展望台などの施設について、自然環境に配慮しつつ、バリアフリー*化に対応した再整備を行うほか、「藻岩山の日」などのソフト事業をさらに展開することによって、藻岩山の魅力アップを図ります。
	○藻岩山の再整備 H18：－⇒H22：整備
定山溪温泉活性化補助	定山溪温泉地域の観光地活性化に向けた自主的なまちづくり活動や、地域の魅力向上、来客受入体制の充実、来客誘致促進などの事業に対して補助を行います。
	○定山溪の宿泊者数 H19：1,408千人⇒H22：1,600千人
新たな秋のイベント 事業	大型イベントの少ない秋に集客増を図るため、大通公園において「秋の豊穰祭」をテーマとして、北海道の食を中心に地産地消*、食育*などをコンセプトとした新たな集客イベントを実施します。
	○観客数：H18：－⇒H22：80万人
大通公園スケーティング・スクエア事業	かつて札幌の冬の風物詩であったスケートリンクを大通公園1丁目に設置し、夜間のライトアップにより札幌の冬の新名所とし、市民や観光客に気軽にスケート体験のできる機会を提供します。
	○利用者数 H18：－⇒H22：1万人
平岡公園・梅林ライト アップ事業	札幌の新たな観光魅力づくりとして、平岡公園・梅林について梅の開花時期に合わせて梅林の一部をライトアップし、観光資源として定着させていきます。
	○梅開花時期の夜間入園者数 H18：－⇒H22：17,600人
北緯 43° 花香る北の 街づくり事業 ※環境局みどりの推進 部、建設局管理部所管	地域特性に応じた美しい街並みをつくるため、地域が主体となった花壇づくり（コミュニティガーデン）を推進するほか、市民自ら花苗を育成して植栽する取り組みを支援します。
	○コミュニティガーデン設置数（累計） H18：－⇒H22：30カ所
	○花を活用した管理を行う道路残地*箇所数（累計） H18：－⇒H22：10カ所

コンベンション：大会、会議、展示会、見本市、イベントなどの非日常的な人の集まりを核として、人や物、知識、情報、技術を呼び込むしくみ。

パフォーマンス：街頭などで行う演技、演劇、演奏などの表現。

バリアフリー：高齢者や障がいのある人などが、社会生活をしていくうえで障壁となるものを除去すること。道路、建物、交通手段など物理的なものだけでなく、社会的、制度的、心理的なものを含めたすべての障害をなくすことを意味している。

地産地消：「地域生産地域消費」の略語で、地域で生産された農産物や水産物をその地域で消費すること。

食育：安全な「食」に関する知識と「食」を選択する力を身につけ、望ましい食生活を送ることができる人を育てること。

道路残地：土地の一部が道路として整備されることによって生じた残り地で、札幌市が取得し管理しているもの。

■ 観光客及びコンベンションの受入強化と誘致促進

集客増を図るため、特に外国人や国内の個人客に対応した、ホスピタリティ※の向上や観光情報提供の充実など受入環境を整備するとともに、観光客の誘致について、対象に合わせた効果的な誘致宣伝活動や民間事業者との協働による観光魅力づくりの取り組みなどを進めます。

また、集客・経済効果の高いコンベンションについて誘致活動を積極的に行うほか、北海道洞爺湖サミット※開催に合わせた関連事業への支援などを実施します。

事業名 (4年間の計画事業費)	事業内容 達成目標
観光都市さっぽろ 推進事業	集客交流を促進するため、国内外の個人客への対応充実や、まち全体のおもてなしの充実、札幌の魅力発掘や新たな魅力創出の支援や発信、コンベンションの誘致・支援など、まち全体の魅力を高め、来客者の増加を目指す事業を展開します。 ○外国人観光客のリピーター率 H18：25.4%⇒H22：30% ○札幌観光の満足度（おもてなし） H18：69.5%⇒H22：75% ○コンベンションの開催件数 H18：911件⇒H22：1,050件
首都圏シティPR※ 事業 ※総務局東京事務所所 管	札幌への集客を図るため、首都圏において、広告媒体や集客イベントを活用して、札幌のイメージやブランド・観光の魅力を発信し、観光客やコンベンションなどの誘致を行います。 ○観光集客イベントの集客人数 H18：7.1万人⇒H22：7.5万人 ○コンベンション開催団体への訪問回数 H18：501件⇒H22：620件
ターゲット別国内観光 プロモーション事業	旅行会社や、首都圏・関西圏の一般市民などの対象（ターゲット）別に、説明会やさっぽろスイーツ※プロモーション（宣伝）、首都圏での修学旅行誘致、旅行商品開発支援など、特性に合った誘致宣伝活動を実施します。 ○道外観光客の来客数 H18：6,398千人⇒H22：6,791千人 ○スイーツを楽しみにした観光客の増加 H18：24.2%⇒H22：35%
国際観光誘致事業	観光客の増加が見込まれる東アジアやオセアニアなどを対象として、国が実施するビジット・ジャパン・キャンペーン※と連携し、イメージ発信や旅行商品開発支援などの誘致宣伝事業を行います。 ○外国人延べ宿泊者数 H18：559,272人⇒H22：70万人
アジア学生交流事業 ※総務局国際部所管	国が実施する「21世紀東アジア青少年大交流計画」により、来日し札幌を訪れるアジアの学生たちと、市民レベルの交流を進め国際理解を深める市民交流事業を行います。 ○市民交流事業等参加者数 H18：－⇒H22：500人

北海道洞爺湖サミット 開催支援事業 ※総務局国際部所管	北海道洞爺湖サミット開催に合わせて、札幌市のPRを積極的に行うほか、道民会議などを通じた開催支援やサミット関連プログラムの運営支援を行います。
	○サミットの支援 H18：－⇒H20：推進
国際園芸博覧会※構想 の検討 ※市民まちづくり局 企画部所管	国際園芸博覧会（花博）について、テーマ・コンセプト、開催候補地、概算費用や波及効果などの基礎調査を行い、市民の意向を把握した上で開催誘致の是非を決定します。
	○開催誘致の是非決定 H18：－⇒H20：決定

ホスピタリティ：来客に対して、受け入れ側の人々が気持ちよく接し、快適で強い印象と深い満足感を与え、再び訪れたくなるようにさせる心のこもったもてなし。

サミット：主要国の首脳が一堂に会し、経済・社会問題など国際社会が直面する課題について意見交換し、合意形成を行う会議。現在は、日本、アメリカ、イギリス、フランス、ドイツ、イタリア、カナダ、ロシアの8カ国が参加し、毎年開催されている。

シティPR：都市の知名度やイメージの向上を図るための各種PR。

スイーツ：洋菓子、またはデザートのこと。「さっぽろスイーツ」とは、北海道の素材を活かした札幌ならではの洋菓子。

ビジット・ジャパン・キャンペーン：2010年に訪日外国人旅行者数を1,000万人とすることを目標に、国が地方や民間と連携して、海外観光客を日本へ呼び込むための誘致宣伝活動などを行う取り組み。

国際園芸博覧会：園芸技術の向上と園芸製品への評価を高めることを目的として国際園芸家協会の承認により開催される国際博覧会。1960年以降、ヨーロッパを中心にアジア各国でも開催され、国内ではこれまで3回開催（1990大阪、2000兵庫、2004静岡）されている。

■ 道内各市町村と連携した魅力の発信

道内各市町村と連携し、国内外へ向けた食や観光資源などの情報発信や特産品の販売を行うための拠点を都心に整備するなど、札幌の都市の魅力や機能、集客力を道内各市町村に活用してもらうことを通じて、北海道の中心都市、拠点都市として先導的な役割を果たし、北海道全体の魅力向上や活性化を目指します。

事業名 (4年間の計画事業費)	事業内容 達成目標
都心部における北海道 の魅力発信事業 ※市民まちづくり局企 画部所管	北海道全体の魅力向上や活性化を図るため、道内各市町村と連携し、国内外へ向けた食や観光資源などの情報発信や特産品の販売を行うための拠点を都心に整備します。
	○来場者数 H18：－⇒H22：10万人 ○道内各地域からの出展者数 H18：－⇒H22：50件
新たな秋のイベント事 業【再掲】	大型イベントの少ない秋に集客増を図るため、大通公園において「秋の豊穡祭」をテーマとして、北海道の食を中心に地産地消、食育などをコンセプトとした新たな集客イベントを実施します。
	○観客数 H18：－⇒H22：80万人
(仮称)札幌広域ドラ イブルートマップ作成 事業	観光客のレンタカー利用の増加に対応して、札幌および札幌周辺エリアの魅力を広めるため、札幌を基点とした車での日帰り圏内のドライブルートマップを作成配布するほか、ホームページで広く情報発信を行います。
	○参画施設の入場者数の伸び率 H18：－⇒H22：1.5%アップ

《成果指標》

項 目	現状値	目標値
【市民意識・行動指標】 ・観光地としての総合満足度	84.7%（H18）	90%（H22）
【社会成果指標】 ・年間来客数 ・外国人延べ宿泊者数 ・札幌市内での総観光消費額	1,410 万人（H18） 559,272 人（H18） 4,776 億円（H16）	1,500 万人（H22） 70 万人（H22） 5,500 億円（H21）

《各主体の主な役割》

市民・町内会・ NPO※等	・来客を温かく迎えるおもてなしの実践 ・観光魅力づくり、観光魅力の再認識 ・ボランティアの育成と自立化の支援 など
企業等	・観光魅力づくり、旅行商品の開発、誘致宣伝活動 ・観光客などへのより良いサービスの提供 ・集客交流都市を支える人材の育成 など
関係団体	・国内外向けの誘致宣伝活動 ・観光客受入対応の充実 ・観光魅力の保護・活用の促進 など
大学等	・集客交流に関する研究者などの人材育成 ・集客交流に関する研究情報の発信 ・企業、行政との共同調査・研究 など
行 政	・市民、NPO、企業、関係団体などとの連携推進 ・観光魅力づくり、旅行商品開発に対する支援 ・国・北海道・他市町村との連携による施策展開 など

NPO：ノンプロフィット・オーガナイゼーション（Non-Profit Organization）の略。民間の非営利組織のことを言う広い概念。一般的には、継続的、自発的に社会貢献活動を行う、営利を目的としない団体の総称。

2 平成 20 年度観光文化局観光部の機構・職員数

局長	部長	課長	係長	係員
観光文化局長	観光部長	観光企画課長	庶務係長	3 名
			受入推進担当係長	2 名
			観光資源担当係長	2 名
		観光振興担当課長	シティ P R 担当係長	2 名
			シティ P R 担当係長 (総務局東京事務所シティセールス担当係長兼務)	
			観光魅力づくり担当係長	2 名
		観光イベント担当課長	事業係長	4 名
			事業調整担当係長	
		定山溪地区担当課長	定山溪地区担当係長	
	部長職 (札幌振興公社派遣)			
		課長職 (財札幌国際プラザ派遣)		
1 名	2 名	5 名	9 名	15 名
合計職員数 32 名				

3 平成 20 年度観光部の事業概要

○観光客の受け入れ環境整備事業【受入推進担当】

(1) 観光案内所の運営管理

来札客に各種観光情報等を提供するため、市内に観光案内所を設置しています。常設の案内所のほか、観光シーズンに合わせて設置する案内所があります。

また、外国人来札客に対しての観光情報提供場所として、国際観光振興機構（日本政府観光局：J N T O）の指定による「ビジット・ジャパン案内所（V案内所）」があります。

〔観光部案内所一覧〕

名 称	概 要
北海道さっぽろ観光案内所 (V案内所)	所在地：中央区北 6 西 4 JR 札幌駅 1 階西側コンコース 定休日：年中無休 営業時間：8:30～20:00 電話番号：011-213-5088
カッコウの窓口 (V案内所)	所在地：中央区北 1 西 2 市役所 2 階 定休日：土日祝、年末年始 営業時間：8:45～17:15 電話番号：011-251-2141
大通公園観光案内所	所在地：中央区大通西 3 丁目 定休日：11 月～4 月下旬（春～秋季のみの営業） ※平成 20 年度は 4/25～10/31 まで開設 営業時間：10:00～17:00（4～5 月、9～10 月）、 9:00～18:00（6～8 月） 電話番号：なし
定山溪観光案内所	所在地：南区定山溪温泉東 3 丁目 定休日：年末年始 営業時間：9:00～17:00 電話番号：011-598-2012
札幌国際プラザ (V案内所)	所在地：中央区北 1 西 3 札幌 MN ビル 3 階 定休日：日祝、年末年始 営業時間：9:00～17:30 電話番号：011-211-3678

(2) 観光マップ制作

来札客の円滑な周遊をサポートするためのツールとして、中心部及び広域マップに主な観光施設を掲載した「さっぽろ観光マップ」を発行しています。日本語のほか、英語、中国語（簡体字・繁体字）及びハングルの 5 言語を制作し、市内各案内所等で配布しています。

(3) 観光案内板の管理

来札客の利便性を図るために、183 基の観光案内板を設置しています。表示言語は、日本語・英語・中国語（簡体字）・ハングルの 4 言語に加え、中国語（繁体字）の追記を順次行っており、外国人の来客にも対応しています。また、ユニバーサルデザインやピクトグラム（絵文字表記）を採用して利便性に配慮しています。

(4) 都心部観光バス待機場の設置

観光バスで訪れた観光客が街なかを見学している間、バスが路上駐車をしなくても済

むように、札幌市と北海道バス協会が共同で観光バス専用の待機場を設置し、北海道バス協会が管理運営をしています。

観光バス待機場所在地：中央区北1条西9丁目〔平成19年度利用台数14,790台〕

(5) 札幌まちなめぐりパス実証実験への参画

公共交通の利用促進と、札幌を訪れる観光客の利便性、観光施設と連携した札幌の魅力アップを目的として平成18年度から行っている「札幌まちなめぐりパス」の実証実験に参加し、負担金を支出しています。

今年度は、日本語パンフレットにフリーペーパー要素を加味することにより、制作費・印刷費を広告収入で賄うこととし、事業の枠組みを確立させる一方、台湾・香港観光客の関心も高いことから、中国語繁体字版パンフレットを制作し、利用促進についても調査を実施します。

○ホスピタリティ推進事業【受入推進担当】

(1) 観光ボランティアの運営

市民による観光ボランティアが、大通公園観光案内所や北海道さっぽろ観光案内所、雪まつり会場の案内所で、パンフレットの配布や観光スポットの紹介、写真撮影などの観光案内を行っています。地元住民ならではの意見が聞けるということで、観光客から好評を得ています。

登録数は191名（男60名・女131名）、平均年齢は61.9歳であり、活動は交代制となっています（平成20年9月現在）。

(2) 札幌魅力再発見研修

観光客と最も身近に接し、リアルタイムに札幌の魅力を伝える存在である札幌市内のホテルフロント・コンシェルジュや観光事業者などを対象に、観光案内機能の充実を図るため、市内観光施設の視察研修を実施します。

(3) 市民と協働による観光ガイドブック制作

ワークショップ形式で市民おすすめの観光モデルコースを作成します。市民と協働で作成することで、観光客に対する市民のホスピタリティの向上を図ります。

○観光情報の発信【受入推進担当】

(1) ホームページの運営管理

ア) 観光情報サイト「ようこそさっぽろ」の運営管理

札幌市の観光情報サイトとして「ようこそさっぽろ」を公開しています。

このサイトの運営は、市民・企業・大学（研究機関）・行政が集まり、運営・編集方針を考える委員会方式をとっており、交通機関等の基本情報のほか、イベントなど季節限定の情報を紹介し、毎月更新しています。日本語のほか、英語・中国語（繁体字・簡体字）・ハングル版があります。

また、来札した旅行者向けには、携帯電話から気軽に情報収集ができる「さっぽろフットナビ！」を公開しています。

ようこそさっぽろ <http://www.welcome.city.sapporo.jp>

さっぽろフットナビ！ <http://www.welcome.city.sapporo.jp/fnv/index.html>



（QRコード※）

QRコード：2次元コードの方式の一つ。携帯電話のアドレス読み取り機能などに採用されている。

イ) リアルタイム情報発信システム運営

市内で行われる様々な観光・文化事業の情報を集約し、季節情報（桜開花情報、紅葉情報など）や観光施設の運休情報（ロープウェイ、観光幌馬車など）などのリアルタイム情報とあわせて、市民へわかりやすく提供する「観光文化情報ステーション」を運営しています（観光文化局文化部に予算を委託し運営）。

なお、観光文化情報ステーションは以下のホームページでも情報発信を行っています。

観光文化情報ステーション

所在地：地下鉄南北線「大通駅」地下コンコース北改札口横

定休日：年末年始（12/29～1/3）

営業時間：10：00～20：00

【URL】<http://www.sapporo-info.com/index.php>



（QRコード）

(2) 観光情報共有メーリングリストの管理運営

季節情報（桜開花情報、紅葉情報など）や観光施設運休情報（ロープウェイ、観光幌馬車など）、各種イベント情報、ホテルの混雑状況等の観光関連情報を、観光案内所や市内ホテル関係者等で共有するためのメーリングリスト「観光情報ネット」を運営しています。

(3) 写真ライブラリー

企業等が札幌の観光ガイドブックやパンフレット制作を行う際に必要となる市内の観光スポット等の写真を保有しており、ホームページで無料ダウンロードサービスを行っています。

札幌の観光行政（観光写真ライブラリー）

<http://www.city.sapporo.jp/keizai/kanko/index.html>

○修学旅行誘致に関する企画【受入推進担当】

札幌市東京事務所と連携した誘致活動を行っています。また、首都圏から中学・高校生の教育旅行を誘致するために、道央圏の関係団体で組織する「道央圏教育旅行推進会議」に参加し、教育旅行誘致パンフレットの制作を行っています。

○藻岩山魅力アップ構想推進事業【観光資源担当】

藻岩山については、「第4次札幌市長期総合計画」における位置づけを踏まえ、これまで有識者、公募市民などから構成される懇談会、シンポジウム、フォーラム等を通じ、藻岩山の今後のあり方、ランドデザインや魅力アップの方向性などについて検討を行いました。それらを基に平成19年度に策定した「藻岩山魅力アップ構想」は、今後の藻岩山のありべき姿・方向性ととも、藻岩山で想定される施設の改修や求められる機能、さらにはこの機能を担う施設のガイドラインを示しています。

藻岩山魅力アップ事業では、この「藻岩山魅力アップ構想」に基づき、ソフト事業のさ

らなる充実を図っていくとともに、環境配慮ガイドラインを踏まえた施設整備の計画、設計など、ソフト・ハード両面で藻岩山の魅力をより高めていくための整備を進めていきます。

藻岩山は眺望、夜景のスポットとして札幌を代表する集客交流資源である一方で、大都市に隣接した豊かな自然環境を有する環境文化都市のシンボルでもあり、環境保全の重要性を理解してもらう場としても重要な役割を果たしていくものと考えられます。今後、自然と共生する札幌のまちづくりの象徴として、市民、観光客を問わず、また高齢者、障がいのある方なども含め、誰もが訪れたくなる場所をめざして整備を進めていきます。

本年度は特に、「北海道洞爺湖サミット」の開催にあわせて、その主要なテーマである「環境」に関連した事業として「さっぽろに緑を広めよう」の取組みを開始しています。

○国内外へ向けた観光プロモーション事業【シティPR担当】

(1) 国内プロモーション事業

札幌市を訪れる観光客の約44%は道外からの来客です。道外観光客は消費行動などの経済効果も大きく、地域の活性化に果たす役割は大きいと言えます。

本市では、道外観光客の誘致に向けた取り組みに重点をおき、特に約3000万人の人口を抱え、札幌への来客割合が多い首都圏を中心に、PR事業を展開していきます。

ア) ターゲット別国内観光プロモーション事業

首都圏、関西圏及び中京圏において旅行会社及びマスメディアを対象とした事業「Round-Table about Sapporo Tourism」を開催しています。

この事業では、札幌観光の魅力を強く発信する説明会と商談会を行い、札幌観光のPRと新たな旅行商品の造成につなげていきます。

イ) 観光メールマガジンの配信

札幌観光の旬の魅力を広く発信するため、主に首都圏の旅行会社の方々を対象に観光メールマガジンを配信しています。このメールマガジンでは、魅力が読者により伝わるよう観光部職員が実際に体験取材を行い記事にしています。

メールマガジンの配信は、下記のホームページから申し込むことができます。

札幌の観光行政(メールマガジン配信申込・バックナンバー紹介)

http://www.city.sapporo.jp/keizai/kanko/mail_magazine/mail_magazine.html

(2) 国外プロモーション事業

近年、海外からわが国への来客者数は、増加する傾向にあります。現在、政府では「ビジット・ジャパン・キャンペーン」を展開し、海外からの来客を倍増させる取り組みを進めており、今後も急速に増加していく可能性があります。

札幌市を訪れる外国人は、台湾や香港、韓国、中国など東アジアからの来客が特に多くなっていますが、最近では、シンガポール、タイ、マレーシアなど東南アジアからの来客や、冬季にはスキーを主目的とするオーストラリアからの来客も増加する傾向にあります。札幌市では、こうした海外からの観光客をさらに誘致するために、各種のPR事業を展開していきます。

ア) 個人旅行(FIT)促進事業

現在、札幌市を訪れる外国人の半数近くが台湾からの観光客ですが、そのほとんどが団体旅行で来札している状況にあります。今後は、現地の消費者や個人客向け商品を取り扱う旅行会社に向けて、情報発信を行うことにより、個人旅行への転換を促し、リピーターの獲得を図っていきます。また、冬季にニセコに滞在しているオーストラリア人スキー客などに向けて、周辺観光地としての札幌の魅力を発信し、

認知度・集客の向上につなげていきます。

イ) シンガポール・タイ観光プロモーションの実施

近年、急速に札幌への来客が増えているシンガポール及びタイに対して、官民合同のプロモーション団により、現地における広報、販売支援など、集中的なプロモーションを行います。

ウ) 北海道スキーブランド化事業

中国に対する旅行需要掘り起こしのひとつの方法として、北海道に優位性があるテーマであるスキーを切り口としたプロモーションを実施します。

エ) 国際旅行見本市への出展

東アジア地域で開催されている旅行見本市に出展し、札幌の魅力をPRするとともに、旅行商品の企画を促進するよう現地旅行関係企業との連携を深めます。

※平成20年度出展（予定） B I T F（釜山国際観光展）・韓国釜山市、
M A T T A F A I R 2008・マレーシア クアラルンプール市

○PRツールの制作、配布・貸出【シティPR担当】

札幌の観光の魅力を視覚的にアピールしていくために、広報宣伝物を制作し、配布または貸出を行っています。

(1) ビデオ・DVD

本市では、現在、2種類のプロモーションビデオ（DVD）を制作しており、プロモーションの機会などに配布しているほか、国内外観光拠点（国際観光振興機構海外事務所、札幌市東京事務所、北海道観光振興機構）に常備し、誘致用に活用するとともに、観光情報提供窓口である「カッコウの窓口」において、貸出を行っています。

タイトル	言語	メディア	制作年度
Air Sapporo N43°	日本語	DVD	初版：平成12年度 改訂版：平成15年度
歓迎交響曲	日本語、英語、中国語（簡体字、繁体字）、韓国語	DVD、ビデオ	初版：平成13年度 第五版：平成20年度

(2) 観光PRリーフレット・ポスター【シティPR担当】

本市では、さまざまな機会をとらえた幅広いプロモーション活動を行うため、観光PRリーフレットとポスターを制作しています。制作したリーフレットやポスターは、全国各地で行われる物産展や各種イベント等で配布、掲出していきます。

○集客交流事業者に対する助成制度の実施

(1) 観光プロモーション助成事業【シティPR担当】

札幌観光の最大のマーケットである首都圏及び関西圏において、札幌の観光の魅力をPRする事業に対し、その費用の一部を助成し、札幌観光の活性化を図ります。

(2) 芸術・文化・食等を活用した街の魅力創造支援事業【観光魅力づくり担当】

芸術・文化・食等の観光魅力を活用し、観光客の札幌市での滞在をより充実させることを目的とする事業に対して、費用の一部を助成し、街の魅力づくりを支援します。

○来札観光客の動向調査・分析、結果についての情報提供【観光魅力づくり担当】

(1) 来札観光客数、訪日外国人宿泊客数の調査

札幌市への来札観光客の入り込み数や宿泊施設の利用状況などの調査を行い、本書「札幌の観光」やインターネットで公開しています。

札幌の観光行政(観光統計データ)

<http://www.city.sapporo.jp/keizai/kanko/statistics/statistics.html>

(2) 来札観光客動態調査

来札観光客の動態を明らかにし、今後の観光行政に活用することを目的に、以下の調査を実施します。

なお、過去の調査結果はホームページで公開しています。

札幌の観光行政(計画・調査レポート)

<http://www.city.sapporo.jp/keizai/kanko/program/program.html>

ア) 来札観光客満足度調査

主要ターゲットである首都圏・関西圏からの観光客を対象に、来札観光の満足度、観光消費額、宿泊日数、再訪意向などのアンケート調査を実施します。

イ) 外国人観光客動態調査

香港、台湾、韓国等、来札観光客が多い東南アジアを中心に、道内及び市内でどのような観光行動をとっているか、外国人観光客を対象としたアンケート調査を実施します。

○定山溪観光客来客誘致関連補助【観光魅力づくり担当】

平成16年度に策定された「定山溪温泉活性化ビジョンアクションプログラム」に基づき実施される各種ウォーキング、散策、ロビーコンサートなどの「癒しと湯のにぎわい事業」や、健康食の開発などを行う「健康保養温泉地づくり事業」など、定山溪温泉地域の魅力向上、来客誘致促進事業に対し支援を行っています。

○コンベンション誘致・支援事業【観光魅力づくり担当】

(1) コンベンション誘致事業

会議の運営費用に係る助成金制度の整備や運用、国際コンベンション見本市への出展等、コンベンション誘致事業を行うほか、コンベンション参加者向け市内マップの作成、割引地下鉄1日乗車券「Aカード」の制作等の会議開催支援を行い、会議参加者のアフターコンベンション(会議後の観光等)を促進しています。

(2) 関係団体との連絡調整

札幌市におけるコンベンション誘致の中心組織である(財)札幌国際プラザコンベンションビューロー※に対して補助金を交付するとともに、会議開催の鍵となるキーパーソンの札幌招へい、国際コンベンション見本市への出展など、誘致事業についても連携しながら、実施しています。

また、大規模・国際的なコンベンション(例:国際顕微鏡学学会、その他政府系国際会議など)の誘致については、関係者(道、経済団体、企業等)との意見交換や調整を図るなど、戦略的な誘致に向けた取り組みを行っています。

(財)札幌国際プラザコンベンションビューロー:コンベンションを誘致するため、誘致段階(誘致プレゼンテーション資料の提供、招聘状の送付など)、開催段階(コンベンション運営の手伝い、ボランティアの派遣)等の事業を主な活動とする非営利の推進機関です。

○新たな観光魅力づくり、観光資源の開発【観光魅力づくり担当】

観光客の札幌市での滞在をより充実させることを目的に、各関係団体とも連携のうえ、札幌の新たな観光魅力づくり、観光資源の開発を行っています。

(1) さっぽろスイーツ

平成 17 年度に設立された「スイーツ王国さっぽろ推進協議会」を中心に、北海道の優れた食材を活かしたスイーツの開発や、国内外への P R 活動など様々な事業を展開しています。

(2) 札幌広域圏組合

札幌広域圏組合は、広域的な地域振興を図ることを目的に、札幌近郊 8 市町村から構成されている特別地方公共団体です。札幌市は、その構成市町村の 1 つとして、近郊市町村との密度の濃い連携のうえ、互いにはないものを補いながら、「点」としてではなく「面」として札幌圏を P R し、札幌圏への誘客を目指しています。

札幌広域圏が行う主な取り組みとしては、主要旅行会社担当者とともに札幌近郊の観光資源を視察し旅行商品化を促進する「観光資源現地視察」の実施や、観光セミナー(Round-Table about Sapporo Tourism)への積極的な参加、圏域を紹介する冊子作成などの事業があります。

(3) 平岡公園・梅林ライトアップ事業

本市の既存観光資源である平岡公園・梅林の魅力アップ事業として、梅の開花時期である 5 月 1 日から 11 日まで、梅林の一部の夜間ライトアップを実施しました。期間中は多くの方が来場し、平岡公園・梅林の新たな魅力を楽しみました。

○札幌旅行商品提案プロジェクト【観光魅力づくり担当】

主要ターゲットである首都圏から札幌圏への旅行商品の造成のため、個々の旅行会社の具体的な要望等を把握し、地元の観光事業者などと連携のうえ、札幌圏の新しい観光魅力を組み込んだ具体的な旅行商品の提案を行っています。

○各種まっりの企画実施【事業係】

(1) さっぽろライラックまつり

ライラックの開花時期に大通公園で開催。昭和 34 年に第 1 回が開かれ平成 20 年で 50 回を迎えました。

(2) さっぽろ夏まつり

昭和 29 年に夏の観光名物の新規開拓を目指し誕生。平成 20 年で 55 回を迎えました。イベントの中心となっているのが納涼ガーデンと盆踊りで、都市公園で 4 大ビールメーカーが一同にビアガーデンを開催するのは全国的にも珍しいものです。

(3) さっぽろオータムフェスト

今年度から、札幌の新たな秋のイベントとして開催。「札幌の秋はおいしい」をキーワードに、北海道・札幌の食をメインテーマとして、道産食材を中心とした一次産品、料理やお酒を提供します。

(4) さっぽろ菊まつり

昭和 38 年に菊作り愛好者が増える中、小規模な同好会活動が一本化され、全市的なスケールのイベントとして誕生。平成 20 年で 46 回を迎えます。さっぽろ地下街のオーロラタウンとポールタウン、地下鉄大通駅コンコースを会場とし、毎年数百点の菊が出展されています。

(5) さっぽろ雪まつり

昭和 25 年に始まったこのまつりは、札幌を代表する世界的なイベントで、平成 21 年で 60 回を迎えます。大小合わせて約 300 基の雪氷像が 7 日間にわたり市民や観光客を楽しませます。

○各種まつりの連絡調整【事業係】

(1) YOSAKOI ソーラン祭り

平成 4 年に始まったこの祭りも平成 20 年で 17 回を迎え、約 200 万人の来場者が訪れる札幌の初夏を彩る一大イベントに成長しました。

(2) さっぽろホワイトイルミネーション

昭和 56 年に秋の観光シーズンとさっぽろ雪まつりをつなぐイベントとして誕生。平成 20 年で 28 回を迎えます。会場は大通公園、駅前通り及び南一条通りで、総数 40 万個もの電球が飾られ北の街の夜を幻想的に彩ります。

(3) ミュンヘンクリスマス市 in Sapporo

平成 14 年にミュンヘン市との姉妹提携 30 周年を記念し開催されました。会場は大通西 2 丁目で、ドイツのクリスマス市にちなんだ物販が行われ、札幌とミュンヘンの国際的な交流の場として市民に親しまれています。

○「札幌コンベンションセンター」の運営管理【庶務係】

国際会議や各種学会等の大規模な会議を、需要に応じて柔軟に対応できる大型コンベンション施設として、平成 15 年 6 月に設置しています。

指定管理者制度※の導入に伴い、平成 18 年 4 月 1 日から「さっぽろ施設経営有限責任事業組合」が指定管理者として、札幌コンベンションセンターの運営管理を行っています。

指定管理者制度：多様化する住民ニーズに、より効果的かつ効率的に対応するため、公の施設の管理に民間の能力を活用しつつ、住民サービスの向上を図り、経費の削減等を図ることを目的とした制度。これにより、これまで地方公共団体の出資法人等、公共的な団体しか公の施設の管理を行うことができませんでしたが、民間事業者も公の施設の管理を行うことができるようになりました。

○札幌国際ユースホステルの運営管理【庶務係】

来札観光客に低額な料金で、安全・快適な宿泊を提供する施設として札幌国際ユースホステルを設置しています。

〔札幌国際ユースホステル〕

所在地 豊平区豊平 6 条 6 丁目 5 番 3 5 号

電話番号 (011) 825-3120

開設年月 平成 12 年 4 月

構造／延床面積 鉄筋コンクリート造 地下 1 階付 4 階建／1, 967.64 m²

定員／利用期間 120 人／通年

管理運営 (財) 北海道ユースホステル協会 (指定管理者)

宿泊料金等 宿泊 3, 800 円 (中学生以下 3, 300 円、4 歳未満無料) (冷暖房、シーツ料、税込) 食事 (朝食 630 円)

敷地面積 918.93 m²

(URL) <http://www.youthhostel.or.jp/kokusai/>

4 トピックス

○さっぽろオータムフェスト 2008 開催

今年から、大通公園の新たな秋のイベントとして、9月19日(金)から10月5日(日)までの17日間、「さっぽろオータムフェスト 2008」が開催されます。

当イベントの会場は大通公園の5丁目から8丁目を使用し、各丁目をひとつのエリアとしてテーマ付けを行い、各エリアのテーマが統一感をもって融合することでイベント全体が構築されています。

5丁目会場のテーマは、「地産地消」。北海道の「旨い」を知り尽くした北海道じゃらんがプロデュースし、「北海道の新・ご当地グルメ」と、恒例となった「HOKKAIDO ラーメン祭り」の2つのコーナーに分けて開催します。人気のラーメン店が期間中延べ15店登場。「オホーツク北見塩焼きそば」「日本海えびタコ餃子」「富良野オムカレー」等々の11地域の「新・ご当地グルメ」が登場します。

6丁目会場では、「大通バザールアミーゴ!」と題し、「札幌、街の魅力を発信」をテーマに大通エリアにある6つの商店街や人気の食イベント「さっぽろタパス」とのコラボレーションによる出店。昼間はオープンカフェ、夜は特設BARとして、市内中心部の「食」や「カルチャー」を日替わりでお楽しみいただけます。楽しいひと時を演出するアトラクションもぞくぞく登場予定。

7丁目会場では、「北海道のお酒と酒肴」と題し、お酒のおいしい飲み方を提案する「大通公園7丁目 BAR」を中心に、北海道産のお酒や道産食材にこだわったつまみ、料理を提供。さらに市内フードライターがお薦めの飲食店を紹介するコンシェルジュコーナーもご用意してすすきの、円山エリアの魅力も発信していきます。

8丁目エリアでは、昨年まで9月第1週の週末に大通公園で開催されていた「リンケージアップフェスティバル 札幌大通ふるさと市場」を当イベントに統合し、開催期間中の毎週土曜日、日曜日に道内各地の特産物を提供。100を超える市町村が集結し地域食ブランドの「巨大ショーケース」が楽しめます。

この4つのエリアにおいて道内の物産から新作の料理やお酒、そして採れたての農作物や魚介類など、北海道の収穫の秋を堪能できる会場として、多くの市民、観光客に楽しんでいただきます。



さっぽろタパス: スペインのBAR (バル: パーのようにカウンターでお酒などが飲める場所) をモデルに札幌の街をまわるイベント。期間中、参加店各店では、チケット1片で「飲み物+タパス (おつまみ/おやつ)」の提供を受けることができます。平成20年度は9月7日(日)~11日(木)に開催されます。

○新観光ポスター完成

札幌のイメージアップを図り、来札幌意欲を高めることを目的に、視覚的効果が高い観光PRポスターを新たに制作しました。

ポスターは、夏版・冬版の2枚組で、夏のポスターには時計台とライラック、冬のポスターにはさっぽろテレビ塔とホワイトイルミネーションを素材として使用しています。各ポスターは4,704枚の写真を使用したモザイクの手法を用いたデザインとなっており、遠くからは油絵風に札幌の象徴的施設を、近くからはさまざまな札幌の表情を楽しんでいただくことができます。今後も全国各地で行われる物産展や各種イベント等あらゆる機会をとらえ大々的に札幌をPRしていきます。



○さっぽろホスピタリティスペース

北海道洞爺湖サミットの開催期間に前後し（5月24日から7月11日まで）、北海道旅客鉄道株式会社との共催、サッポロビール株式会社協力のもと、札幌駅西口コンコースのイベント広場を活用し、「サミット広場」及び「さっぽろホスピタリティスペース」を設置しました。

期間中、北海道洞爺湖サミットのPRのほか、「おもてなし」やインフォメーション機能の強化を目的とした市民向けのPR事業、国内外のお客様へのホスピタリティ事業を実施いたしました。

さっぽろホスピタリティスペースでは、市民が主体となり、札幌の玄関口に到着した来訪者に必要となる情報を提供するとともに「おもてなし」の心で温かくお迎えし、国内外から多数の観光客が訪れました。



○大通公園スケーティング・スクエア事業

子どもから大人まで誰でも気軽に冬のスポーツを楽しめる機会をつくり、観光の振興及びウィンタースポーツの振興を図るため、雪まつり期間中の大通公園1丁目に、「スケートリンク」を設置しました。

札幌中心部のテレビ塔やビルに囲まれたリンクは、夜間のライトアップ等により、幻想的な雰囲気に包まれ、札幌の新しい観光スポットとして、多くの観光客で賑わいを見せました。

今後は、開催期間の延長及びリンクの拡張を図り、より多くの方に楽しんでいただけるように、事業を進めていきます。



第2章 観光客の入り込み状況

1 平成19年度の動向

(1) 調査結果

- ・ 平成19年度に札幌を訪れた観光客は1378万1千人。
- ・ 過去最高となった平成18年度（1410万4千人）と比較すると、2.3%（32万3千人）の減少となりましたが、それに次ぐ史上2番目の観光客数となりました。

主な特徴は以下のとおり

- 道内客・道外客別入り込み状況では、道外客が減少し、対前年度比は95.4%となりました。
- 交通機関別に対前年度比を見ると、貸切バスによる入り込みが6.7%、路線バスによる入り込みが6.3%の減少となりました。
- 日帰り・宿泊客別に対前年度比を見ると、宿泊客が9.0%減少したのに対し、日帰り客は4.5%増加しました。

(2) 減少の要因

全国的な傾向として、平成19年度の国内宿泊観光旅行において、旅行回数が対前年度比8.3%減、宿泊数も対前年度比9.2%減となっています。この背景としては、有給休暇の取得日数の減少や、限られた余暇を外食、テレビゲーム等比較的手軽なレジャーに消費するという余暇活動の動向等が考えられます（2008年度版観光白書から引用）。

この影響を受け、北海道を訪れた観光客数も減少（対前年度比1.5%減）しており、本市への入り込み数にも影響したものと考えられます。

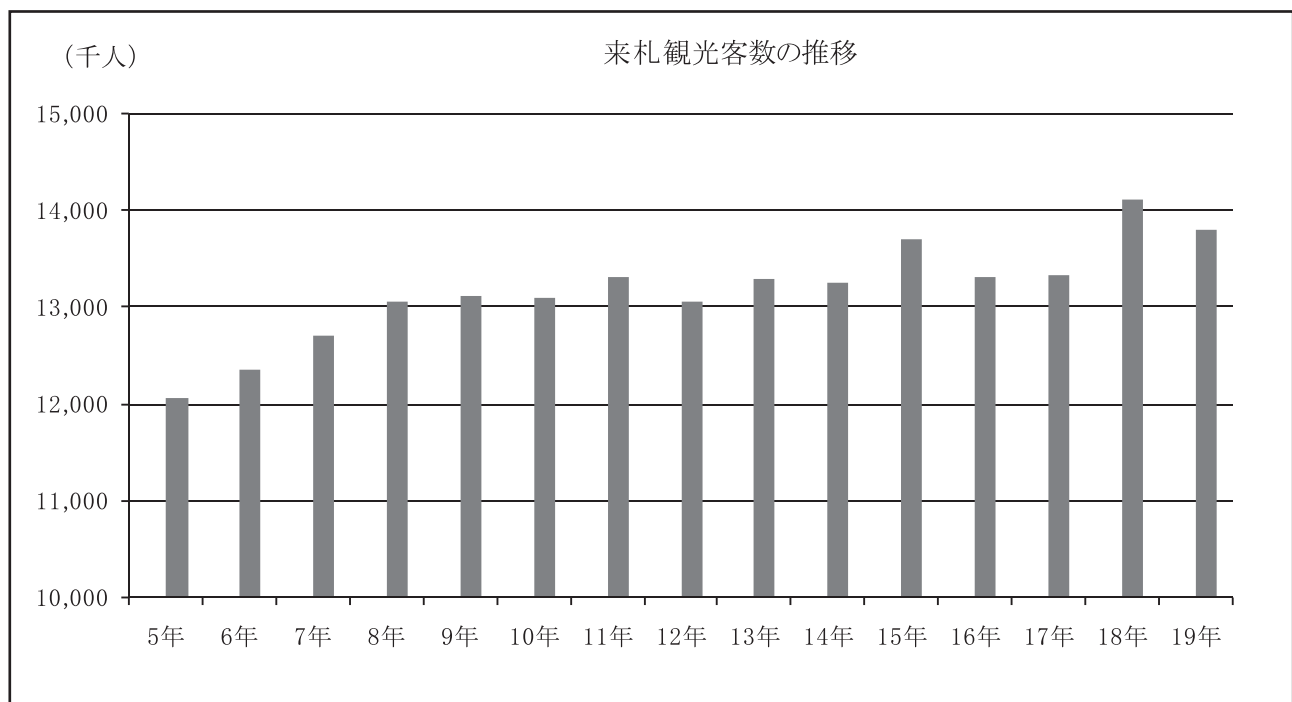
(3) 集計結果の算出方法

札幌市の観光客入り込み数は、交通機関の輸送実績を基に算出しています。具体的には、航空会社、鉄道、路線バス、貸切バスの輸送実績及び国道、高速道路の自動車通行台数に、「観光客率」（平成15～16年度にかけて行った「集客交流入り込み動態調査」により算出した交通機関の利用者数に占める観光客の割合）を乗じて算出しています。

2 観光客の入り込み状況

(1) 来札観光客数の推移

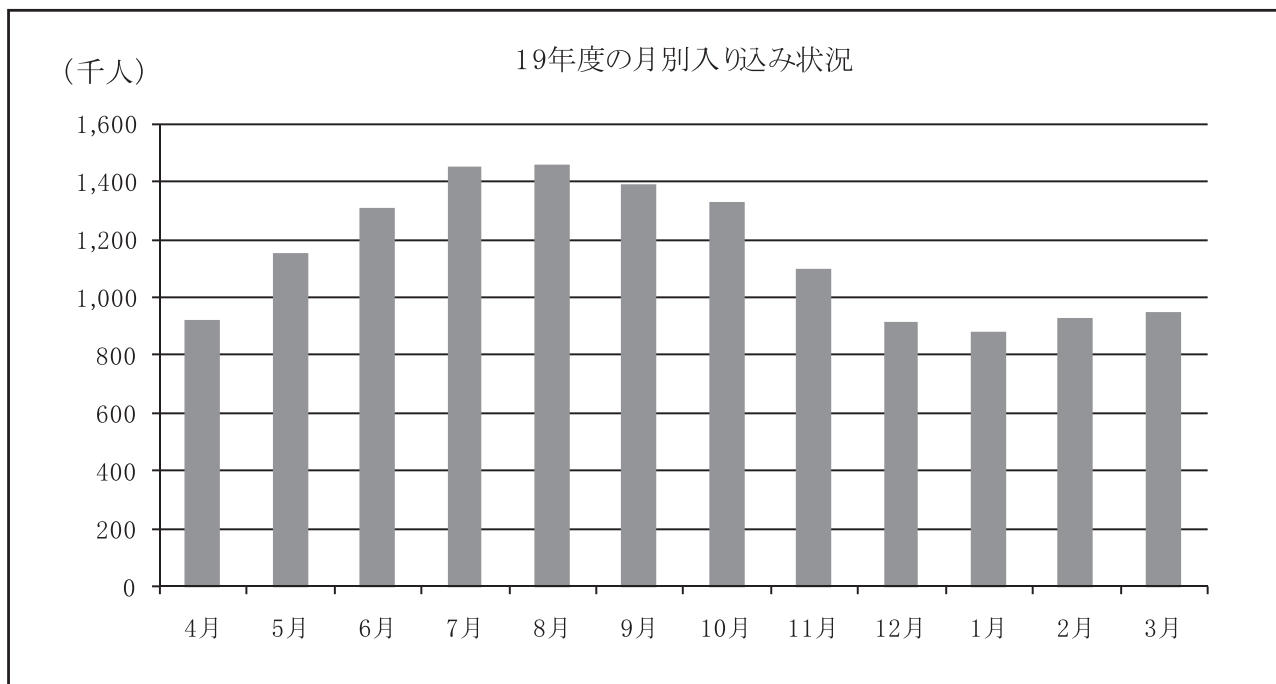
年 度	観光客数 (千人)	前年度比 (%)
平成 5 (1993) 年度	12,046	94.6
6 (1994) 年度	12,334	102.4
7 (1995) 年度	12,696	102.9
8 (1996) 年度	13,054	102.8
9 (1997) 年度	13,106	100.4
10 (1998) 年度	13,081	99.8
11 (1999) 年度	13,304	101.7
12 (2000) 年度	13,050	98.1
13 (2001) 年度	13,280	101.8
14 (2002) 年度	13,251	99.8
15 (2003) 年度	13,683	103.3
16 (2004) 年度	13,302	97.2
17 (2005) 年度	13,323	100.2
18 (2006) 年度	14,104	105.9
19 (2007) 年度	13,781	97.7



(2) 月別入り込み状況

(単位：千人)

年度	年度計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
15年度	13,683	877	1,350	1,448	1,575	1,622	1,620	1,046	758	792	818	881	896
16年度	13,302	950	1,154	1,278	1,438	1,449	1,336	1,241	1,045	854	802	848	907
17年度	13,323	910	1,134	1,256	1,412	1,404	1,355	1,309	1,079	884	825	852	903
18年度	14,104	968	1,204	1,324	1,479	1,517	1,431	1,334	1,118	951	879	932	967
19年度	13,781	919	1,154	1,310	1,452	1,460	1,390	1,327	1,098	918	878	928	947
前年度比 (%)	97.7	94.9	95.8	98.9	98.2	96.2	97.1	99.5	98.2	96.5	99.9	99.6	97.9



(3) 交通機関別入り込み状況

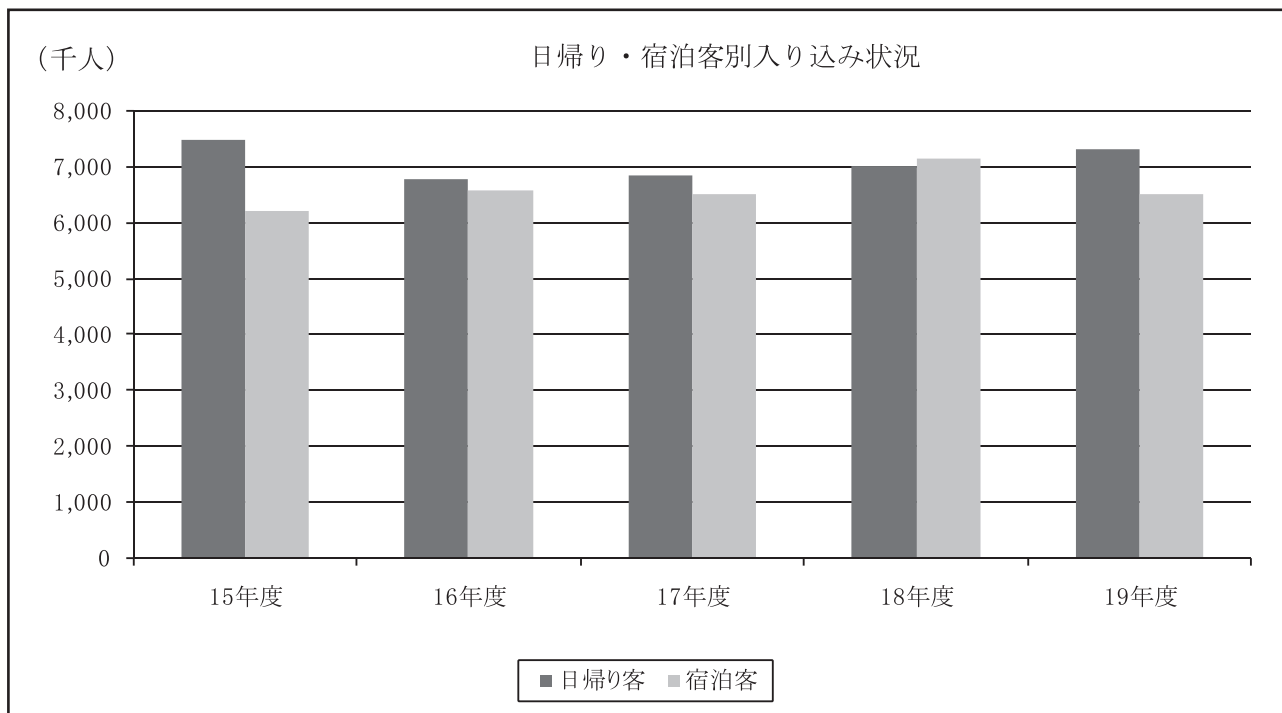
年 度	合 計	乗用車	J R	航空機	貸切バス	路線バス
観光客数（千人）						
15 年度	13,683	3,878	3,242	2,925	3,162	476
16 年度	13,302	6,798	2,825	95	2,578	1,006
17 年度	13,323	6,606	2,857	97	2,842	921
18 年度	14,104	6,735	2,870	102	3,304	1,093
19 年度	13,781	6,735	2,844	97	3,081	1,024
構 成 比（％）						
15 年度	100.0	28.3	23.7	21.4	23.1	3.5
16 年度	100.0	51.1	21.2	0.7	19.4	7.6
17 年度	100.0	49.6	21.5	0.7	21.3	6.9
18 年度	100.0	47.8	20.3	0.7	23.4	7.8
19 年度	100.0	48.9	20.6	0.7	22.4	7.4
前 年 度 比（％）						
15 年度	103.3	100.5	101.3	95.6	118.3	103.7
16 年度	97.2	175.3	87.1	3.2	81.5	211.3
17 年度	100.2	97.2	101.1	102.1	110.2	91.6
18 年度	105.9	101.9	100.5	105.2	116.3	118.7
19 年度	97.7	100.0	99.1	95.1	93.3	93.7

19年度の交通機関別入り込み構成比



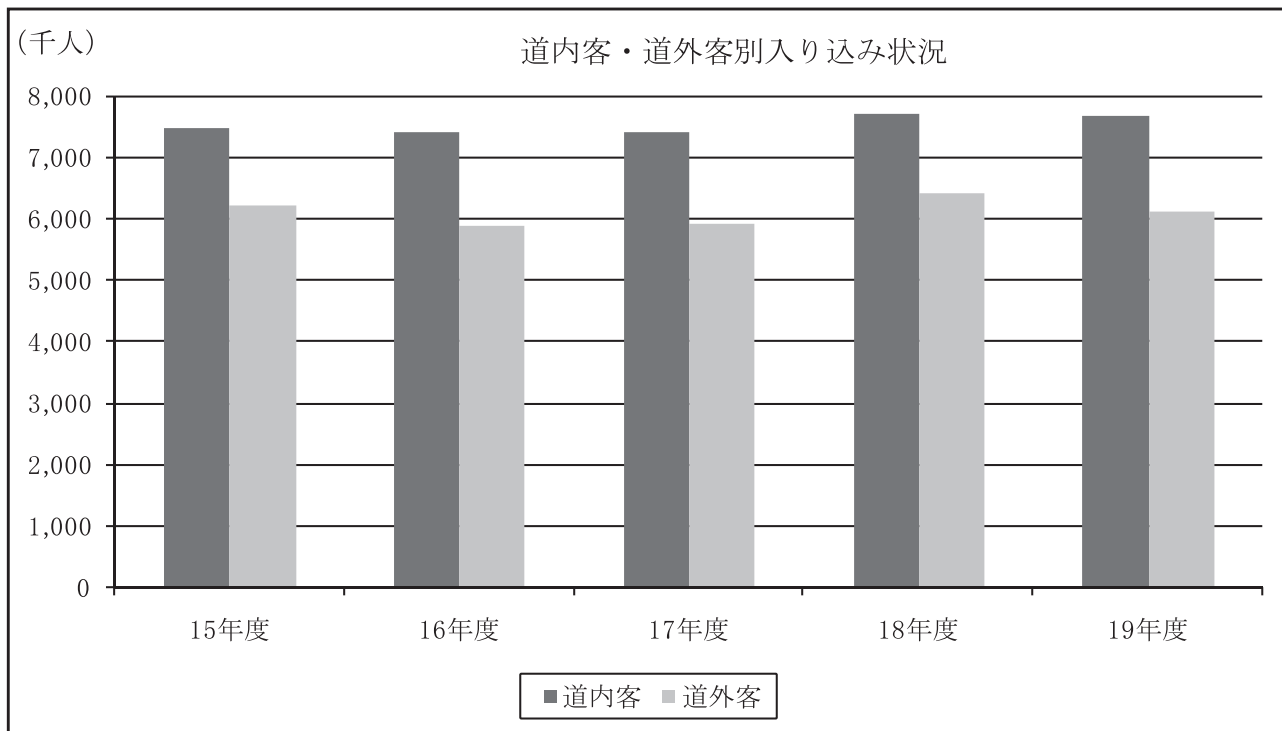
(4) 日帰り・宿泊客別入り込み状況

年 度	観光客数（千人）			構 成 比（％）			前 年 度 比（％）		
	合 計	日帰り客	宿泊客	合 計	日帰り客	宿泊客	合 計	日帰り客	宿泊客
15 年度	13,683	7,475	6,208	100.0	54.6	45.4	103.3	106.8	99.3
16 年度	13,302	6,751	6,551	100.0	50.8	49.2	97.2	90.3	105.5
17 年度	13,323	6,839	6,484	100.0	51.3	48.7	100.2	101.3	99.0
18 年度	14,104	6,986	7,118	100.0	49.5	50.5	105.9	102.1	109.8
19 年度	13,781	7,303	6,478	100.0	53.0	47.0	97.7	104.5	91.0



(5) 道内容・道外客別入り込み状況

年 度	観光客数（千人）			構 成 比（％）			前年度比（％）		
	合計	道内客	道外客	合計	道内客	道外客	合計	道内客	道外客
15 年度	13,683	7,465	6,218	100.0	54.6	45.4	103.3	104.0	102.4
16 年度	13,302	7,406	5,896	100.0	55.7	44.3	97.2	99.2	94.8
17 年度	13,323	7,403	5,920	100.0	55.6	44.4	100.2	100.0	100.4
18 年度	14,104	7,706	6,398	100.0	54.6	45.4	105.9	104.1	108.1
19 年度	13,781	7,677	6,104	100.0	55.7	44.3	97.7	99.6	95.4



第3章 宿泊施設

1 宿泊調査の概要

(1) 定義

すべての宿泊施設は「旅館業法」により法的規制を受けています。本書では「旅館業法」の対象施設のうち、下宿営業の施設、風俗関連営業の施設を除いたものを調査対象とし、以下のとおり分類しています。

ア 構造や設備による分類

(ア) ホテル 全客室の過半数を洋室が占めている施設（簡易宿所を除く）。

(イ) 旅館 全客室の過半数を和室が占めている施設（簡易宿所を除く）。

(ウ) 簡易宿所 カプセルホテル、ユースホステル、ペンション。

イ 運営形態等による分類

(ア) 政府登録施設 「国際観光ホテル整備法」に基づいて国土交通大臣の登録を受けた宿泊施設。

(イ) 一般施設 宿泊施設のうち、政府登録施設と公的施設を除いたもの。

(ウ) 公的施設 公共的性格を有する宿泊施設。国・地方公共団体の出資により管理運営される宿泊施設、および各種組合員（民間企業も含む）用の保養所。

(2) 調査の内容

ア 方法 市内全宿泊施設に調査票を送付し、回答をまとめました。

イ 時期 上期（4月～9月）と下期（10月～翌年3月）の年2回実施。

ウ 項目 客室規模、利用者数、外国人の利用状況、修学旅行生の利用状況

2 宿泊施設の状況

(1) 軒数、客室数、定員数の年度別推移

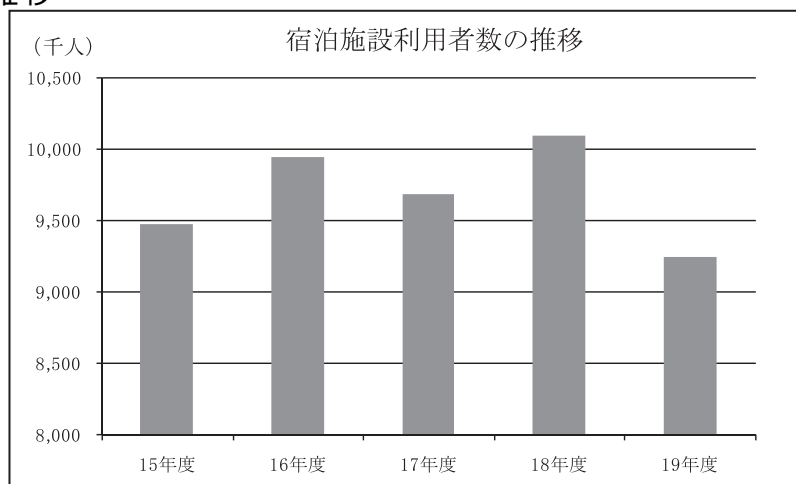
各年度末現在

年度	合 計			ホ テ ル			旅 館			簡 易 宿 所		
	軒数	客室数	定員数	軒数	客室数	定員数	軒数	客室数	定員数	軒数	客室数	定員数
	(軒)	(室)	(人)	(軒)	(室)	(人)	(軒)	(室)	(人)	(軒)	(室)	(人)
15 年度	203	24,236	46,950	128	20,641	33,866	61	2,920	17,794	14	675	1,290
16 年度	204	23,689	46,070	129	20,098	33,001	61	2,915	11,772	14	676	1,297
17 年度	197	22,960	45,586	124	19,447	33,060	60	2,849	11,242	13	664	1,284
18 年度	206	24,977	47,419	132	21,559	34,775	60	2,891	11,283	14	527	1,361
19 年度	194	26,025	49,516	130	22,382	36,655	50	2,904	11,412	14	739	1,449

3 宿泊施設利用状況

(1) 宿泊施設利用者数の年度別推移

年 度	利用者数 (千人)	前年度比 (%)
15 年度	9,477	100.0%
16 年度	9,946	104.9%
17 年度	9,682	97.3%
18 年度	10,096	104.3%
19 年度	9,242	91.5%



ここに掲載する「宿泊施設利用者数」は、市内のホテル・旅館における一般観光客、外国人、修学旅行生、市民利用者等の宿泊者数を調査したものであり、第2章の観光客入り込み数とは一致しません。

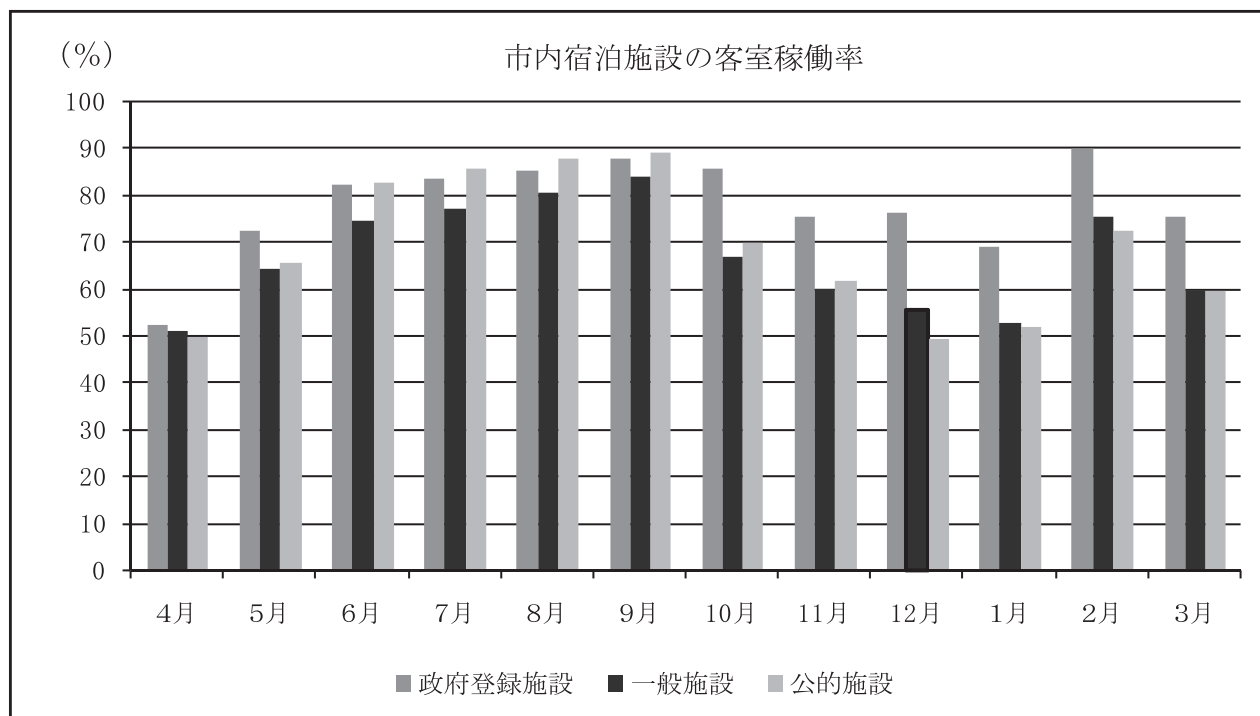
また、全ての宿泊施設からは回答が得られないため、回答のあったおよそ8割の宿泊施設の宿泊施設利用者数を宿泊可能定員数で除して求めた定員利用率を、回答のなかった宿泊施設の定員数に乗じて回答のなかった宿泊施設の利用状況を推計し、それぞれを積み上げて算出しています。

$$\text{定員利用率} = \frac{\text{宿泊施設利用者数}}{\text{宿泊可能定員数}}$$

(2) 市内宿泊施設の客室稼働率

(単位：％)

年度	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
政府登録施設													
15年度	80.0	57.7	82.7	90.3	90.1	91.7	89.9	84.6	70.9	70.7	69.4	86.5	75.7
16年度	78.3	56.4	77.8	92.8	95.0	93.6	90.6	79.2	63.9	66.8	66.3	84.7	73.2
17年度	80.4	58.9	78.6	90.0	92.2	91.3	97.5	82.8	71.0	71.6	66.4	89.6	75.9
18年度	76.8	52.5	69.4	79.0	82.1	84.5	90.3	87.2	72.4	69.5	68.3	90.3	77.9
19年度	77.8	52.3	72.3	82.2	83.5	84.9	87.5	85.4	75.3	76.0	69.1	89.9	75.5
一般施設													
15年度	64.3	45.2	61.3	78.1	79.0	79.1	78.7	67.9	56.3	52.0	50.0	68.2	56.1
16年度	69.6	51.6	63.1	78.4	81.7	84.7	87.6	71.1	62.2	58.8	58.1	75.4	63.1
17年度	69.0	50.7	63.4	78.7	80.8	80.0	86.4	73.2	62.2	59.9	57.4	72.0	64.1
18年度	72.8	53.9	68.8	83.6	89.5	89.6	94.1	78.3	63.2	56.4	53.4	78.0	64.4
19年度	66.6	51.1	64.3	74.5	76.9	80.4	83.7	67.0	60.0	55.6	52.7	75.2	59.7
公的施設													
15年度	59.2	41.8	55.8	68.9	69.3	82.1	68.4	61.1	52.6	40.0	47.2	66.5	57.5
16年度	68.8	51.0	62.8	72.3	89.9	80.3	81.7	86.2	59.3	51.0	57.3	72.2	61.7
17年度	62.6	45.7	58.2	72.0	87.0	76.0	76.9	64.6	52.7	47.2	48.3	65.8	57.7
18年度	71.0	55.9	67.5	86.7	93.4	94.0	91.2	75.8	62.8	49.0	53.4	76.7	62.5
19年度	68.6	50.0	65.7	82.4	85.4	87.7	88.9	69.9	61.9	49.2	52.0	72.2	59.7

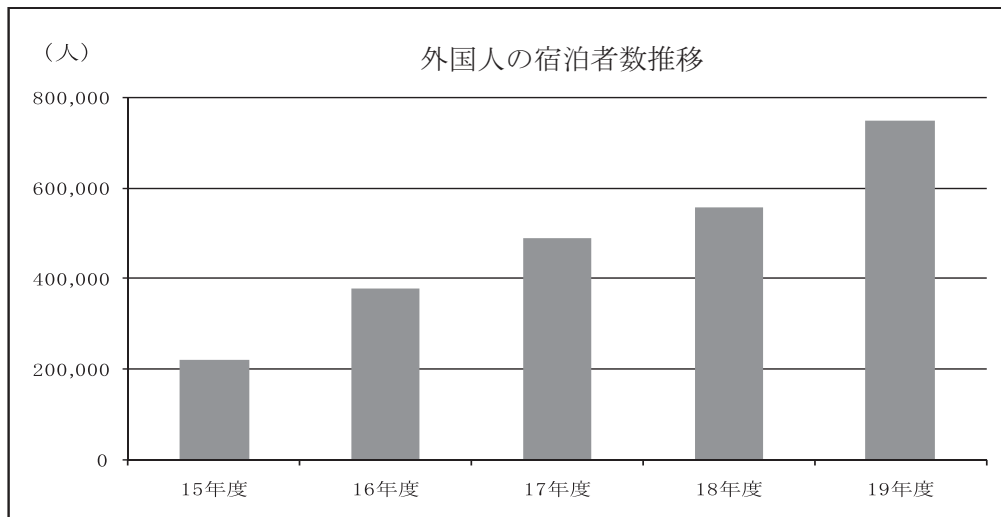


4 外国人の宿泊状況

ここに掲載する外国人宿泊数には、観光以外の目的での利用者も含まれます。なお、回答のあった宿泊施設における宿泊施設利用者数に占める外国人の宿泊数の割合は、各宿泊施設によって差が著しく、回答のあった施設のデータから未回答施設の宿泊数を推計することが適当ではないため、およそ8割の回答のあった宿泊施設のみを集計して算出しています。

(1) 外国人の宿泊数年度別推移

年 度	延べ宿泊者数 (人)	前年度比	宿泊実人数 (人)	平均宿泊 日数 (日)
15 年度	222,425	95.8%	195,086	1.1
16 年度	381,288	171.4%	302,604	1.3
17 年度	490,083	128.5%	428,868	1.1
18 年度	559,272	114.1%	501,847	1.1
19 年度	752,081	134.5%	659,833	1.1



外国人宿泊者数 平成 19 年度の動向

外国人延べ宿泊数は、対前年度比で 134.5%と大きく増加しており、依然として増加傾向が継続しています。増加の要因としては、国が展開しているビジット・ジャパン・キャンペーンと連携して実施した海外プロモーションの成果や、中国からの観光客の増加（前年度比 152.6%）については、新千歳－北京線（19 年 4 月）、新千歳－大連線（19 年 5 月）の新規就航が考えられます。

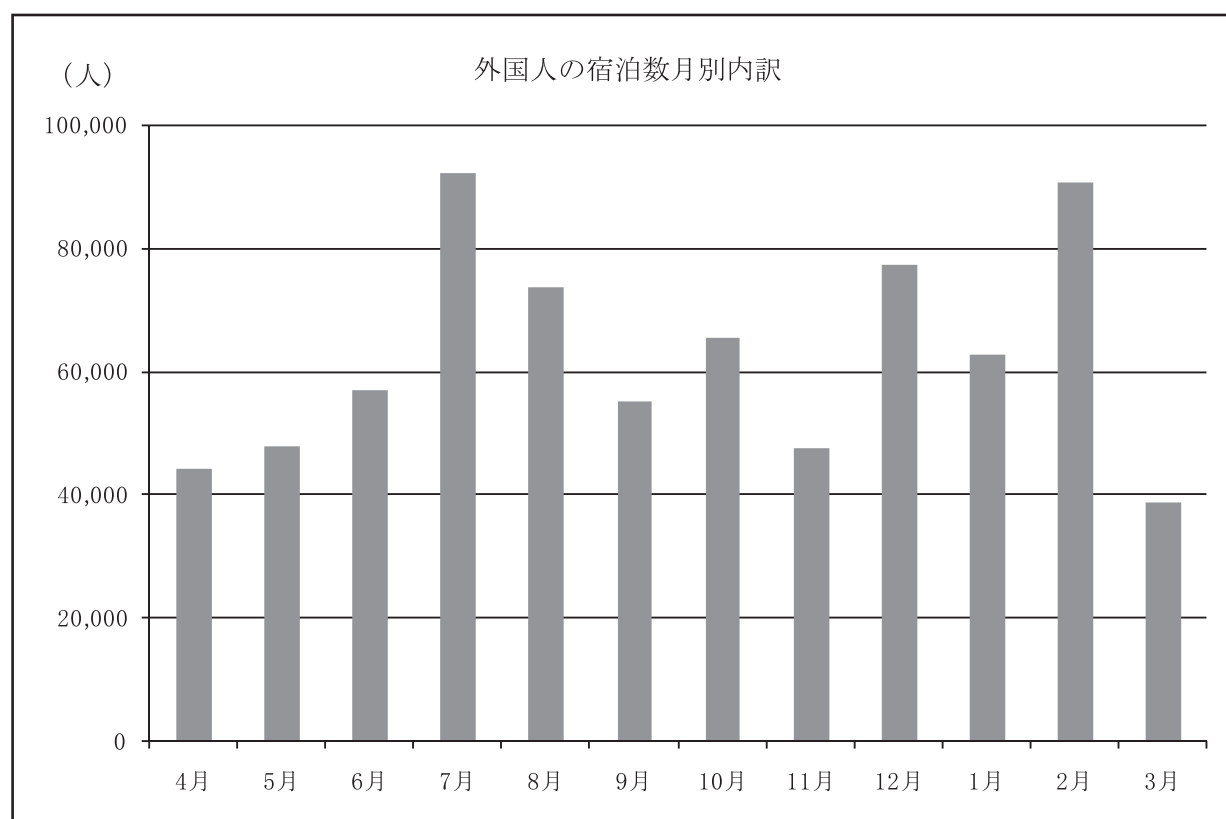
その他の主な特徴は以下のとおりです。

- ・構成比では、アジア地域が全体の 9 割以上を占めています。
- ・国別に見ると、1 位台湾（構成比 40.5%）、2 位香港（構成比 23.5%）、3 位韓国（構成比 14.5%）となっており、上位 3 地域で全体の 8 割近くを占めています。
- ・対前年度比では、特に、シンガポール 231.9%、タイ 203.1%、韓国 167.6%、中国 152.6%の増加幅が大きくなっています。
- ・19 年度から調査を開始したマレーシアについては、年間 8197 人（構成比 1.1%）で、国別では 7 位に位置しました。

(2) 外国人の宿泊数月別内訳

(単位：人)

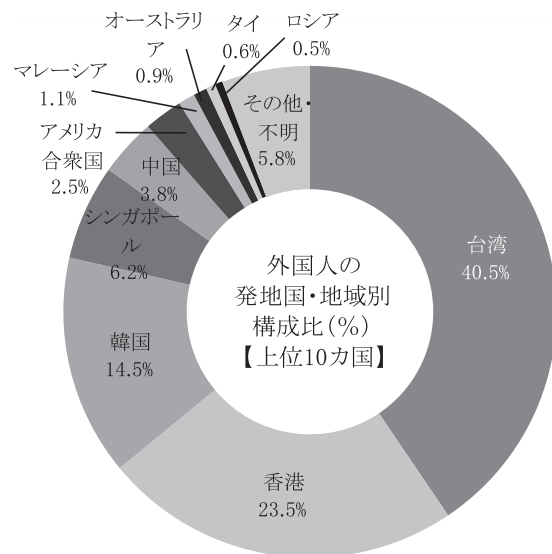
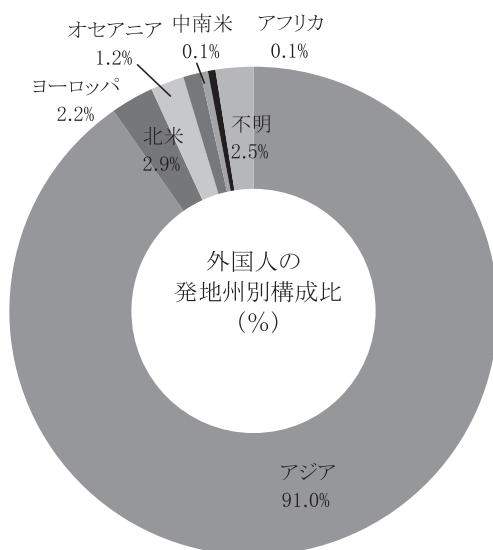
月	観光客数	構成比	前年度比	前年度観光客数
平成 19 年 4 月	44,155	5.9%	146.5%	30,142
5 月	47,853	6.4%	128.9%	37,121
6 月	56,844	7.6%	129.5%	43,879
7 月	92,018	12.2%	129.2%	71,217
8 月	73,569	9.8%	106.3%	69,203
9 月	55,263	7.3%	127.9%	43,200
10 月	65,349	8.7%	167.2%	39,074
11 月	47,508	6.3%	163.9%	28,990
12 月	77,382	10.3%	141.6%	54,648
平成 20 年 1 月	62,777	8.3%	175.6%	35,744
2 月	90,562	12.0%	120.8%	74,995
3 月	38,801	5.2%	124.9%	31,059
年度計	752,081	100.0%	134.5%	559,272



(3) 外国人の宿泊数発地別内訳

区 分	延べ宿泊者数 (人)	構成比	前年度比	宿泊実人数 (人)	平均宿泊 日数 (日)
合 計	752,081	100.0%	134.5%	659,833	1.1
(州 別)					
アジア	684,309	91.0%	137.3%	607,411	1.1
北米	21,647	2.9%	113.1%	14,335	1.5
ヨーロッパ	16,807	2.2%	73.9%	12,534	1.3
オセアニア	8,711	1.2%	142.8%	6,394	1.4
中南米	871	0.1%	101.2%	580	1.5
アフリカ	777	0.1%	124.9%	549	1.4
不明	18,959	2.5%	164.7%	18,030	1.1
(国・地域別)					
台湾	304,688	40.5%	122.4%	275,916	1.1
香港	177,015	23.5%	133.7%	152,905	1.2
韓国	108,883	14.5%	167.6%	95,842	1.1
シンガポール	47,001	6.2%	231.9%	42,638	1.1
中国	28,493	3.8%	152.6%	25,162	1.1
アメリカ合衆国	19,025	2.5%	114.6%	12,412	1.5
マレーシア	8,197	1.1%	※	7,167	1.1
オーストラリア	6,684	0.9%	122.5%	4,907	1.4
タイ	4,807	0.6%	203.1%	3,989	1.2
ロシア	3,692	0.5%	110.6%	2,745	1.3
イギリス	3,030	0.4%	105.9%	2,274	1.3
カナダ	2,622	0.3%	102.8%	1,923	1.4
ドイツ	1,808	0.2%	48.0%	1,399	1.3
フランス	1,539	0.2%	118.1%	1,280	1.2
フィリピン	534	0.1%	131.2%	351	1.5
その他	15,104	2.0%	58.9%	10,893	1.4
不明	18,959	2.5%	164.7%	18,030	1.1

※マレーシアは 19 年度から調査開始



参 考

訪日外客数（観光客）

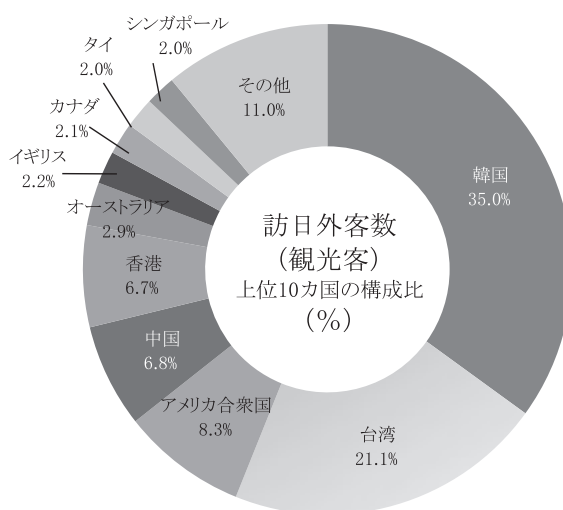
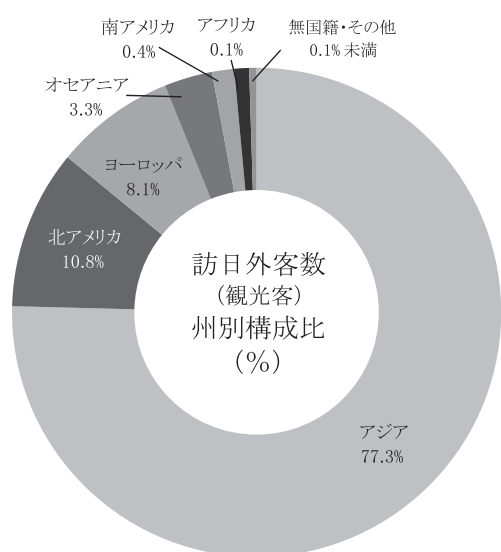
（単位：人）

区 分	訪日外客数（観光客）		
	2007年(平成19年)	構成比	2006年(平成18年)
合 計	5,954,180	100.0%	4,981,035
(州 別)			
アジア	4,601,596	77.3%	3,755,296
北アメリカ	642,972	10.8%	625,522
ヨーロッパ	485,164	8.1%	409,568
オセアニア	194,663	3.3%	164,928
南アメリカ	21,730	0.4%	19,044
アフリカ	7,350	0.1%	6,072
無国籍・その他	705	0.0%	605
(国・地域別)			
韓国	2,084,195	35.0%	1,614,745
台湾	1,255,642	21.1%	1,184,183
アメリカ合衆国	491,553	8.3%	490,472
中国	407,286	6.8%	297,025
香港	399,681	6.7%	322,413
オーストラリア	170,253	2.9%	143,829
イギリス	128,589	2.2%	121,566
カナダ	125,694	2.1%	116,893
タイ	119,718	2.0%	79,094
シンガポール	119,239	2.0%	84,642
フランス	79,138	1.3%	62,815
マレーシア	62,551	1.1%	47,116
ドイツ	50,910	0.9%	44,207
フィリピン	45,971	0.8%	47,255
インドネシア	38,430	0.6%	28,461
その他	375,330	6.3%	296,319

※2007年の観光客には一時上陸客が含まれているが、2006年以前の観光客には一時上陸客が含まれていないため、前年比較はできない。

※国・地域別外客数は、上位15カ国を抜粋表示。

<資料>日本政府観光局（JNTO）訪日外客統計

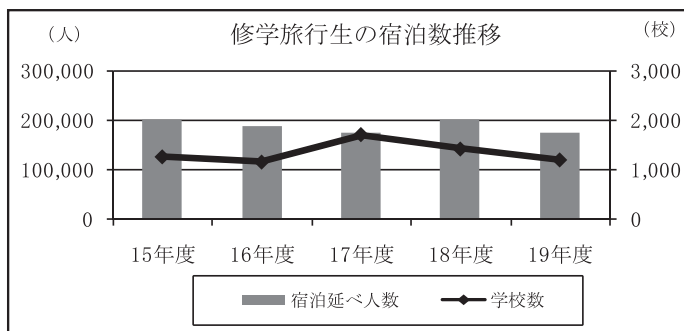


5 修学旅行生の宿泊状況

回答のあった宿泊施設における宿泊施設利用者数に占める修学旅行生の宿泊数の割合は、各宿泊施設によって差が著しく、回答のあった施設のデータから未回答施設の宿泊数を推計することが適当ではないため、およそ8割の回答のあった宿泊施設のみを集計して算出しています。

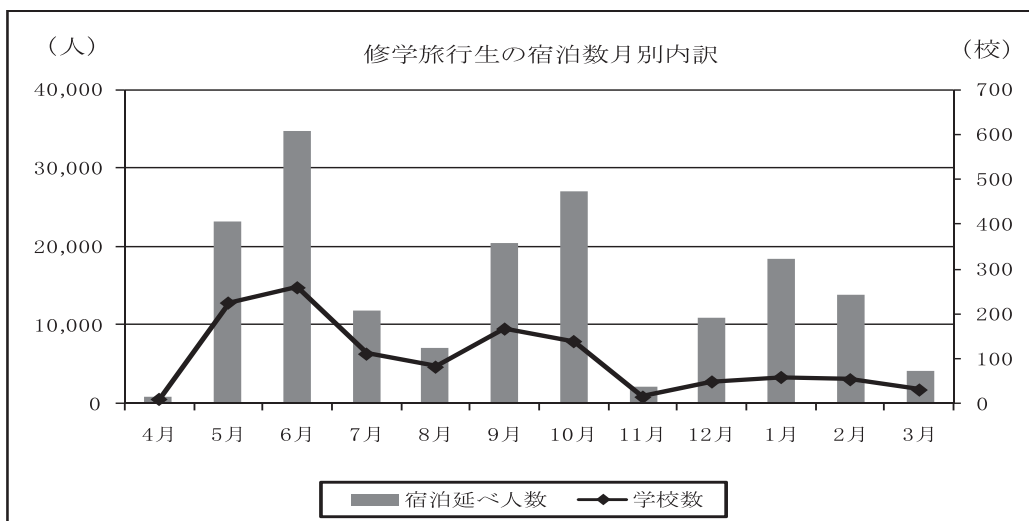
(1) 修学旅行生の宿泊数年度別推移

年 度	学 校 数 (校)	宿 泊 延 べ 人 数 (人)
15 年度	1,265	200,361
16 年度	1,157	188,061
17 年度	1,717	175,024
18 年度	1,424	199,602
19 年度	1,201	174,990



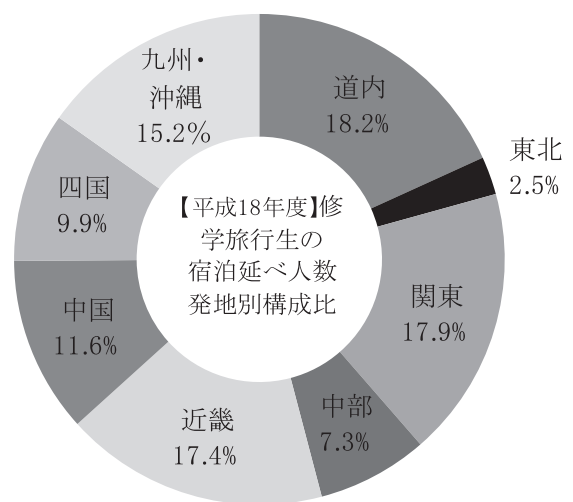
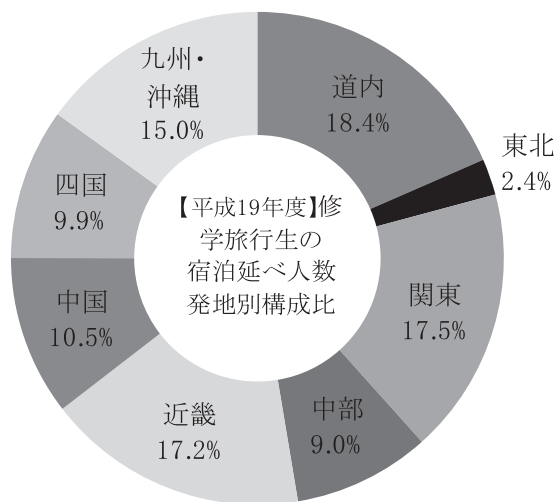
(2) 修学旅行生の宿泊数月別内訳

月	学 校 数 (校)	宿 泊 延 べ 人 数 (人)	延 べ 人 数 構 成 比
平成 19 年 4 月	10	952	0.5%
5 月	225	23,279	13.3%
6 月	259	34,704	19.8%
7 月	111	11,840	6.8%
8 月	82	7,094	4.1%
9 月	167	20,450	11.7%
10 月	139	26,967	15.4%
11 月	15	2,199	1.3%
12 月	49	10,983	6.3%
平成 20 年 1 月	59	18,378	10.5%
2 月	54	13,930	8.0%
3 月	31	4,214	2.4%
年度計	1,201	174,990	100.0%



(3) 修学旅行生の宿泊数発地別内訳

区 分	学校数（校）	宿泊延べ人数 （人）	延べ人数構成 比	前年度比	前年度 宿泊延べ人数 （人）
合 計	1,201	174,990	100.0%	87.7%	199,602
道 内	470	32,278	18.4%	88.9%	36,296
東 北	30	4,171	2.4%	84.3%	4,945
関 東	171	30,683	17.5%	85.7%	35,795
中 部	102	15,744	9.0%	107.5%	14,648
近 畿	142	30,060	17.2%	86.5%	34,746
中 国	102	18,349	10.5%	79.6%	23,058
四 国	105	17,374	9.9%	87.8%	19,796
九州・沖縄	79	26,331	15.0%	86.8%	30,318



6 定山溪地域の宿泊状況

(1) 定山溪地域の宿泊施設軒数、客室数、定員数

平成 19 年度末現在

区分	合 計			ホ テ ル			旅 館			簡易宿泊所		
	軒数 (軒)	客室数 (室)	定員数 (人)	軒数 (軒)	客室数 (室)	定員数 (人)	軒数 (軒)	客室数 (室)	定員数 (人)	軒数 (軒)	客室数 (室)	定員数 (人)
全市	194	26,025	49,516	130	22,382	36,655	50	2,904	11,412	14	739	1,449
う ち 定山溪地域	28	2,321	9,693	—	—	—	28	2,321	9,693	—	—	—

(2) 定山溪地域の宿泊施設利用者数

平成 19 年度

区分	利用者数（千人）
全市	9, 2 4 2
うち定山溪地域	1, 4 0 8

ここに掲載する定山溪地域の「宿泊施設利用者数」は、一般観光客、外国人、修学旅行生、市民利用者等を含む全ての利用者数です。

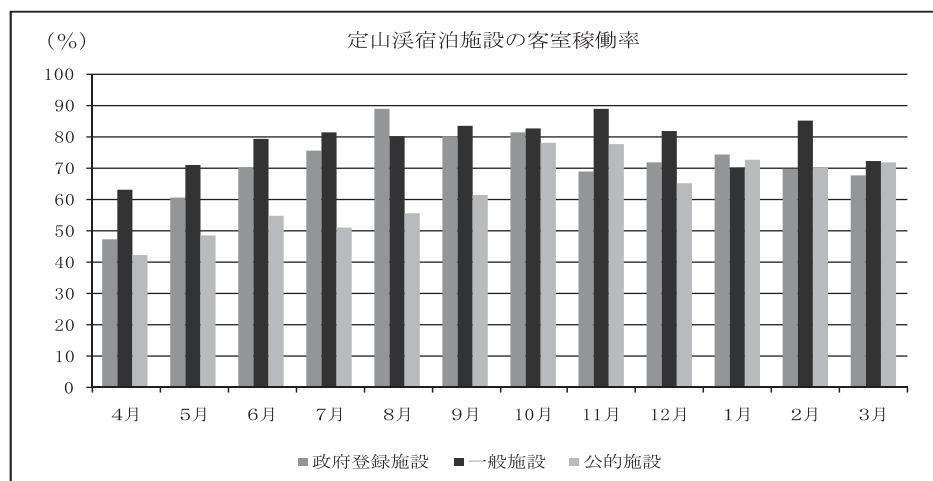
ただし、全ての宿泊施設からは回答が得られないため、回答のあったおよそ 7 割の宿泊施設の宿泊施設利用者数を宿泊可能定員数で除して求めた定員利用率を、回答のなかった宿泊施設の定員数に乗じて回答のなかった宿泊施設の利用状況を推計し、それぞれを積み上げて算出しています。

$$\text{定員利用率} = \frac{\text{宿泊施設利用者数}}{\text{宿泊可能定員数}}$$

(3) 定山溪地域宿泊施設の客室稼働率

(単位：％)

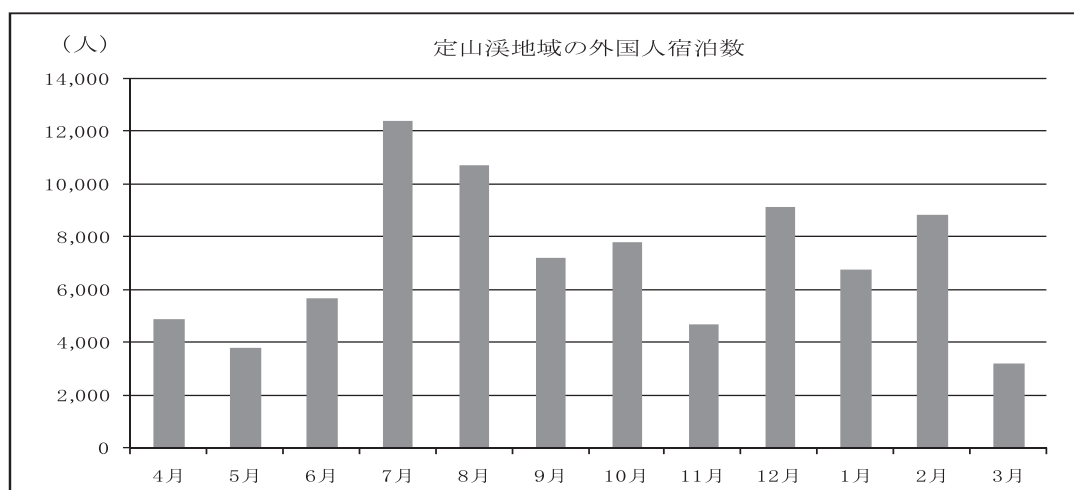
区 分	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
政府登録施設	71.4	47.5	60.6	70.2	75.5	88.7	80.0	81.5	68.9	71.6	74.3	69.8	67.6
一般施設	78.1	63.1	71.0	79.2	81.4	79.9	83.6	82.4	88.7	81.6	70.2	84.9	72.0
公的施設	61.2	42.3	48.4	54.7	50.9	55.5	61.4	78.0	77.7	65.0	72.7	70.0	71.6



(4) 定山溪地域の外国人宿泊数

ここに掲載する外国人宿泊数には、観光以外の目的での利用者も含まれます。なお、回答のあった宿泊施設における宿泊施設利用者数に占める外国人の宿泊数の割合は、各宿泊施設によって差が著しく、回答のあった施設のデータから未回答施設の宿泊数を推計することが適当ではないため、およそ7割の回答のあった宿泊施設のみを集計して算出しています。

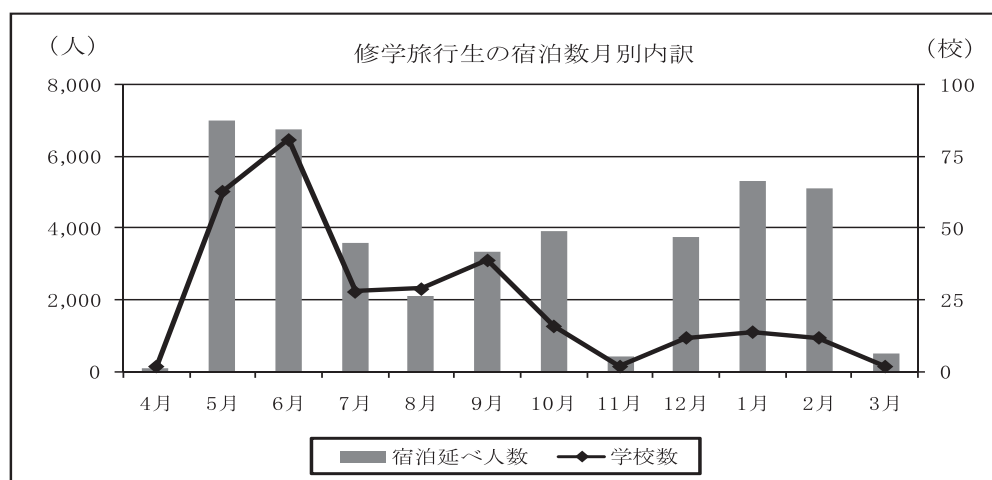
月	延べ宿泊者数 (人)	構成比
平成 19 年 4 月	4,878	5.7%
5 月	3,824	4.5%
6 月	5,695	6.7%
7 月	12,394	14.5%
8 月	10,751	12.6%
9 月	7,234	8.5%
10 月	7,834	9.2%
11 月	4,679	5.5%
12 月	9,176	10.7%
平成 20 年 1 月	6,794	8.0%
2 月	8,879	10.4%
3 月	3,230	3.8%
年度計	85,368	100.0%



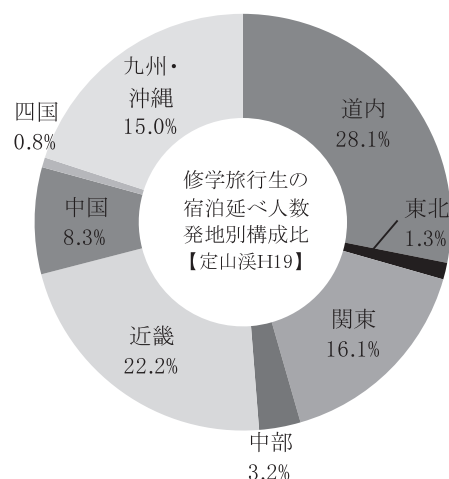
(5) 定山溪地域の修学旅行生の宿泊状況

回答のあった宿泊施設における宿泊施設利用者数に占める修学旅行生の宿泊数の割合は、各宿泊施設によって差が著しく、回答のあった施設のデータから未回答施設の宿泊数を推計することが適当ではないため、およそ7割の回答のあった宿泊施設のみを集計して算出しています。

月	学 校 数 (校)	宿泊延べ人数 (人)	延べ人数 構成比
平成 19 年 4 月	2	143	0.3%
5 月	63	7,027	16.7%
6 月	81	6,750	16.0%
7 月	28	3,630	8.6%
8 月	29	2,114	5.0%
9 月	39	3,349	7.9%
10 月	16	3,930	9.3%
11 月	2	451	1.1%
12 月	12	3,772	8.9%
平成 20 年 1 月	14	5,353	12.7%
2 月	12	5,127	12.2%
3 月	2	541	1.3%
年度計	300	42,187	100.0%



発地別	学校数 (校)	宿泊延べ人数 (人)	のべ人数 構成比
合 計	300	42,187	100.0%
道 内	176	11,868	28.1%
東 北	2	546	1.3%
関 東	44	6,797	16.1%
中 部	11	1,358	3.2%
近 畿	33	9,372	22.2%
中 国	14	3,496	8.3%
四 国	3	323	0.8%
九州・沖縄	17	8,427	20.0%



第4章 イベントとコンベンション

1 札幌でのイベント開催状況

(1) さっぽろ雪まつり

さっぽろ雪まつりは、昭和25年、市内の中高校生たちが大通公園西7丁目に作った小さな雪像6基からスタートしました。寒く厳しい冬に、わずかの楽しみを求めて集まった市民は5万人を数え、小雪像を囲んでのスクエアダンスや映画会を楽しみました。

回を重ねるごとにその規模は拡大し、第6回から雪像の制作に自衛隊が携わることで、大雪像時代が到来しました。今では国内はもとより世界的に知られる冬の一大イベントになっています。

第59回の「大通会場」では、28年ぶりにスケートリンクを設置し、来場者の方々に気軽に冬のスポーツをお楽しみいただきました。また、「さとらんど会場」は、大通会場と一味違った遊び・体験・交流などをコンセプトにした会場として、好評を博しました。



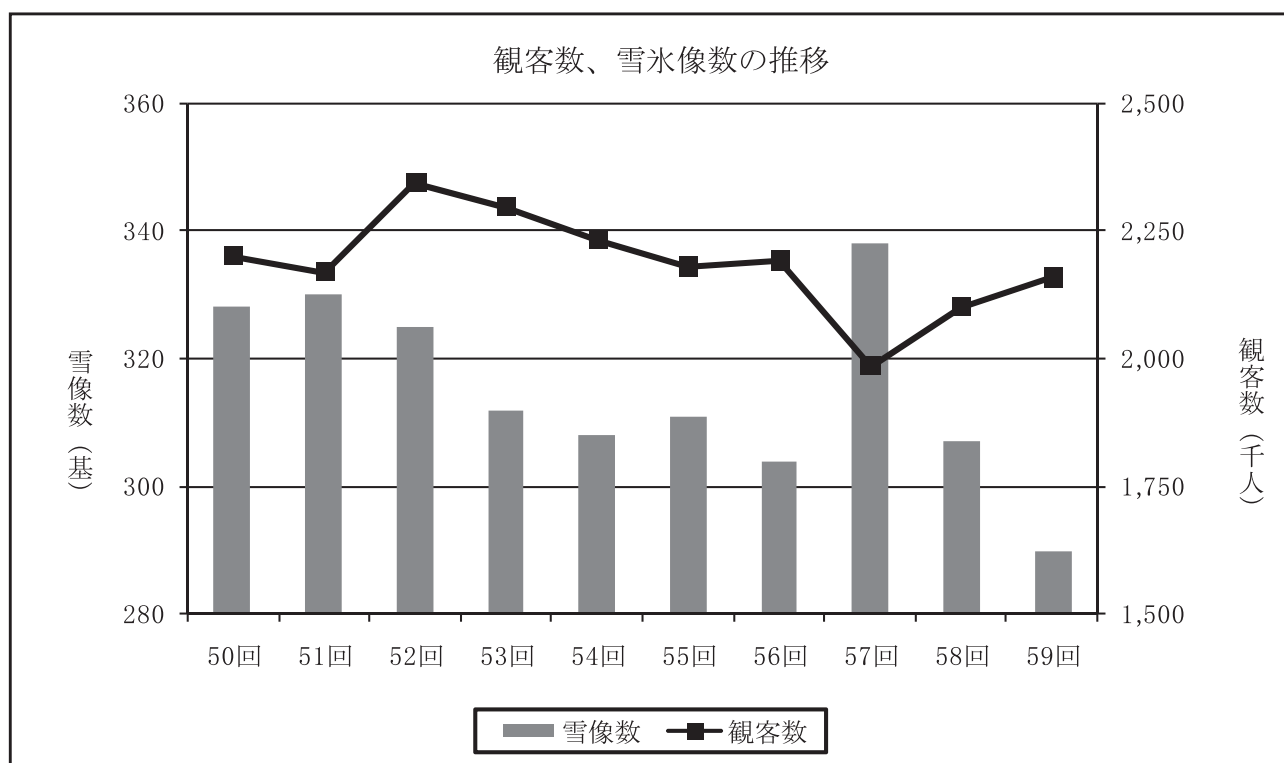
(URL) <http://www.snowfes.com/>

【第59回さっぽろ雪まつりの開催概要】

期 間	平成20年2月5日（火）～11日（月・祝）〔7日間〕	
会 場	大 通 会 場	大通西1～12丁目
	さとらんど会場	サッポロさとらんど
	すすきの会場	駅前通（南4～7条）
行 事 等	・ 開会式（大通西7丁目 2月5日） ・ さとらんど会場オープニングセレモニー（さとらんど 2月5日） ・ 国際雪像コンクール 14チーム（大通西11丁目） ・ 市民雪像（大通 小雪像114基、中雪像3基、バーチャル雪まつり雪像1基） ・ スノーオブジェコンテスト（さとらんど 2月5日） ・ ステージイベント（各会場で会期中、多種多彩なイベントを実施）	
雪 氷 像 数	290基（大雪像5基、中雪像7基、大氷像2基、その他小雪氷像）	
雪 輸 送 量	5tトラックで約7,500台（1月7日開始）	

【観客数、雪氷像数の推移（過去10年）】

	第50回 (平成11年)	第51回 (平成12年)	第52回 (平成13年)	第53回 (平成14年)	第54回 (平成15年)	第55回 (平成16年)	第56回 (平成17年)	第57回 (平成18年)	第58回 (平成19年)	第59回 (平成20年)
雪像数(基)	328	330	325	312	308	311	304	338	307	290
観客数 (千人)	2,201	2,168	2,344	2,297	2,233	2,179	2,191	1,985	2,101	2,159



(2) YOSAKOIソーラン祭り

高知の「よさこい祭り」で、南国土佐の若者たちが情熱的に踊り舞うさまを目にした札幌の大学生が、翌年の平成4年、その感動を再現する新イベントを札幌に創り出しました。よさこい踊りとソーラン節という、日本の南と北の風物詩を組み合わせた「YOSAKOIソーラン祭り」の誕生です。

鳴子（なるこ）を手にし、あでやかな衣装に身を包んだ踊り子チームのそれぞれが、ソーラン節のオリジナルやアレンジ曲に合わせて独自のよさこい踊りを披露し、市内各会場で腕を競い合います。



YOSAKOI ソーラン祭り組織委員会提供

平成10年開催の第7回から、祭りの急速な規模拡大に対応するため、学生中心の実行委員会に代わって、経済界や本市などが加わり組織委員会が結成され、運営・管理体制の強化が図られました。

今年は北海道洞爺湖サミットの開催年にふさわしく、海外チームが参加して「EARTH DAY in ワールドソーラン presented by バンダイナムコ」と題したイベントを初めて開催したほか、ソーランイリュージョンにはディズニーキャラクターが特別参加するなど、新たな話題も盛りだくさんでした。

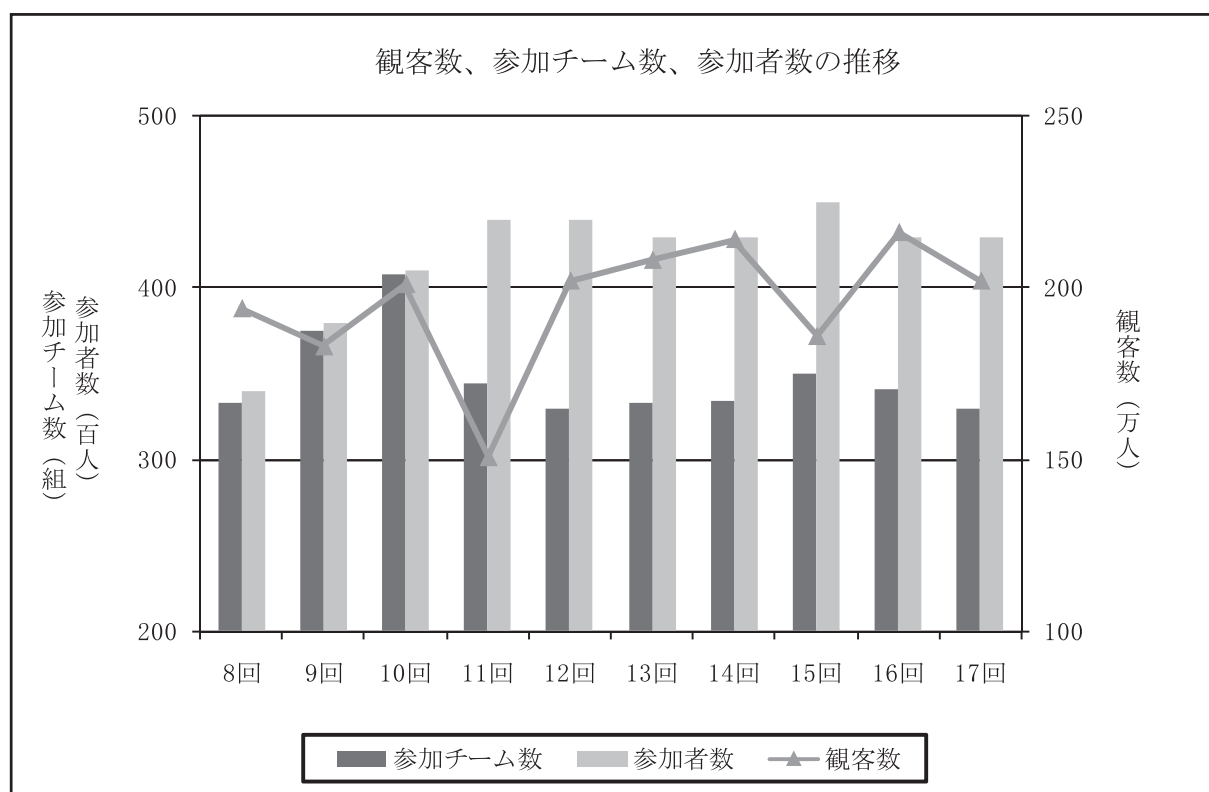
(URL) <http://www.yosanet.com/>

【第 16・17 回 Y O S A K O I ソーラン祭りの開催概要】

	第 16 回（平成 19 年度）	第 17 回（平成 20 年度）
期 間	平成 19 年 6 月 6 日（水）～10 日（日）	平成 20 年 6 月 4 日（水）～8 日（日）
会 場	大通公園を始めとする市内外 30 会場	大通公園を始めとする市内 28 会場
参 加 者	延べ 43,000 人 341 チーム	延べ 43,000 人 330 チーム
うち市内	78 チーム	78 チーム
道内	105 チーム	94 チーム
その他	158 チーム	158 チーム
観 客 数	216 万人	202 万人
経 済 効 果	249 億 2800 万円	245 億 2135 万円

【観客数、参加チーム数、参加者数の推移（過去 10 年）】

	第8回 (11年度)	第9回 (12年度)	第10回 (13年度)	第11回 (14年度)	第12回 (15年度)	第13回 (16年度)	第14回 (17年度)	第15回 (18年度)	第16回 (19年度)	第17回 (20年度)
参加チーム数	333	375	408	344	330	333	334	350	341	330
参加者(百人)	340	380	410	440	440	430	430	450	430	430
観客数(万人)	194	183	201	151	202	208	214	186	216	202



(3) さっぽろ夏まつり

昭和 29 年、夏の観光名物の新規開拓を目指して、それまで市内の各団体・地域がそれぞれ独自に実施してきた夏の行事が一つにまとめられました。「さっぽろ夏まつり」の誕生です。

現在、このまつりは毎年 7・8 月に 1 カ月間連続して開催され、大通会場をはじめ、狸まつり、すすきの祭り、定山溪温泉湯のにぎわいフェアの 3 つのまつりと、各団体・各地域の催しものから構成されています。そしてこのイベントの中心となっているのが納涼ガーデンと盆踊りです



まつりの前半には、メイン会場の「大通納涼ガーデン」に色とりどりのパラソルの花が咲き、ジョッキ数十万杯分の生ビールが市民や観光客ののどを潤します。後半に催される「北海盆踊り」では、提灯の列に彩られた夜の大通にやぐら太鼓が鳴り響き、大勢の市民と観光客で踊りの輪が広がっていきます。

(URL) <http://www.sweb.co.jp/kanko/natsu/>

【第 55 回さっぽろ夏まつりの開催概要】

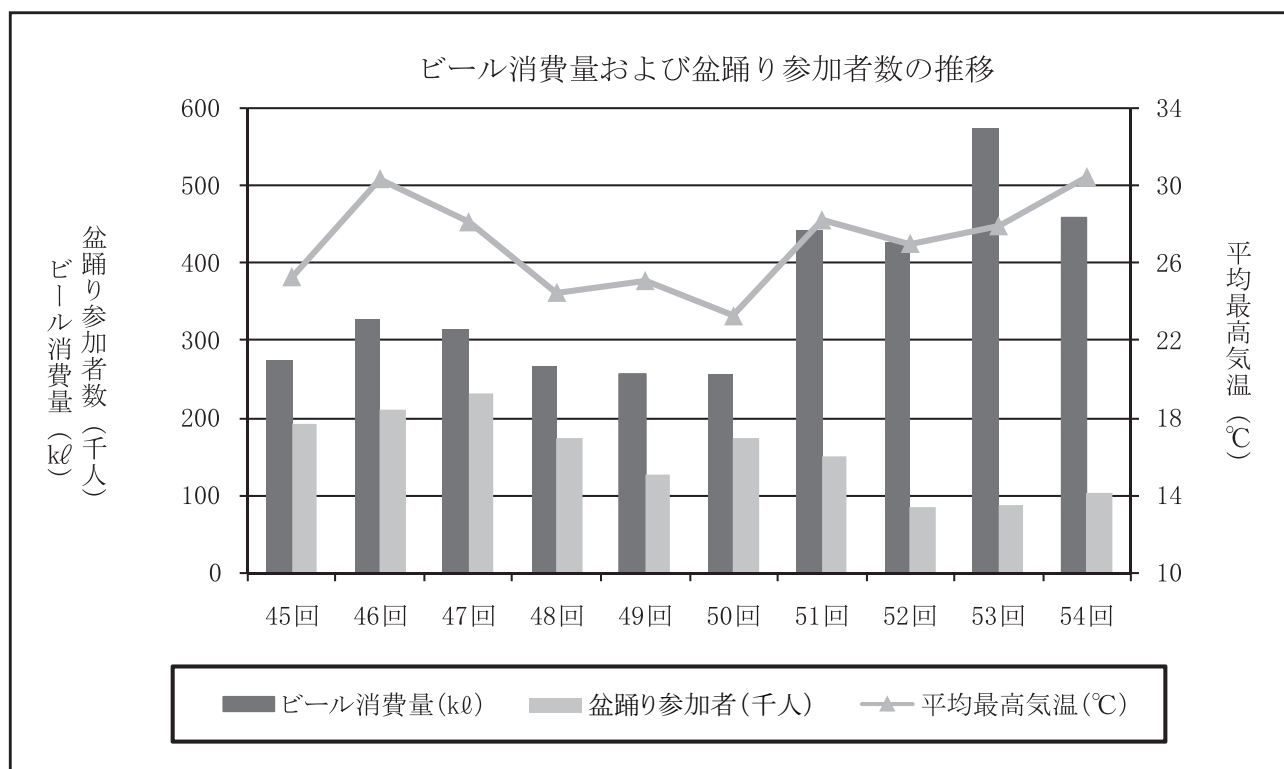
期 間：平成 20 年 7 月 21 日（月・祝）～8 月 20 日（水）〔31 日間〕

行事等

	行 事 ・ 会 場	日 程
大 通	福祉協賛大通納涼ガーデン (西 4～8、10、11 丁目)	7 月 21 日～8 月 15 日
	北海盆踊り (西 2 丁目)	8 月 14 日～20 日
	※「仮装コンクール」(西 2・3 丁目)	8 月 20 日
	さっぽろバザール (西 4・5 丁目)	8 月 14 日～20 日
狸 小 路	第 55 回狸まつり	7 月 21 日～8 月 20 日
すすきの	第 44 回すすきの祭り	8 月 7 日～9 日
定 山 溪	定山溪温泉湯のにぎわいフェア	8 月 1 日～3 日

【ビール消費量および盆踊り参加者数の推移（過去 10 年）】

	第 46 回 (平成 11 年)	第 47 回 (平成 12 年)	第 48 回 (平成 13 年)	第 49 回 (平成 14 年)	第 50 回 (平成 15 年)	第 51 回 (平成 16 年)	第 52 回 (平成 17 年)	第 53 回 (平成 18 年)	第 54 回 (平成 19 年)	第 55 回 (平成 20 年)
ビール消費 量(kℓ)	328	314	266	256	256	442	428	575	459	
盆踊り参加 者(千人)	210	230	172	127	173	149	84	87	101	
平均最高気 温(℃)	30.3	28.1	24.5	25.1	23.3	28.2	27.0	27.9	30.4	



(4) さっぽろライラックまつり

明治期に米国からもたらされて以来、ライラック（別名リラ）は多くの市民に愛され、街角や庭先を飾ってきました。昭和 34 年に「ロマンのまちらしい札幌のまつりを」という文化団体や芸術・文化人らの呼びかけで、ライラックまつりは始まりました。翌、昭和 35 年には、札幌市の人口 50 万人突破を記念して行われた市民投票で、市の花・木・鳥を決めた際に「札幌の木」として選ばれています。



毎年 5 月下旬の開花時期にあわせて開催される「さっぽろライラックまつり」は、半年あまりの長い冬からの開放と野外散策の季節の到来を市民に告げるイベントであり、昭和 34 年に第 1 回が開かれてから、平成 20 年で 50 回目を迎えました。

今年のライラックまつりでは、50 周年を記念して、オリジナルワインを制作したほか、第 2 会場として、白石区の川下公園でも、各種イベントを開催しました。

また、平成 18 年 7 月に「アカシアまつり」とのまつり協定締結に向けた合意書を取り交わした大連市からは、交流訪問団が派遣され、オープニングセレモニーで記念公演を行うなど、市内各地で交流を行いました。

(URL) <http://www.sweb.co.jp/kanko/lilac/>

【第 49・50 回さっぽろライラックまつりの開催概要】

	第 49 回（平成 19 年度）	第 50 回（平成 20 年度）
期 間	平成 19 年 5 月 23 日（水）～27 日（日）	平成 20 年 5 月 21 日（水）～25 日（日）
会 場	大通公園西 4～7 丁目	大通公園西 4～7 丁目、川下公園
行 事 等	苗木プレゼント、ライラック写生コーナー、野だて、大道芸、ライラック音楽祭、似顔絵コーナー、スタンプラリー、折紙教室、和紙ちぎり絵展示・教室、万華鏡の体験・展示コーナー、喫茶コーナー、ワインガーデン、ライラック展示・相談コーナー 他	
観 客 数	363,500 人	373,250 人

(5) さっぽろ菊まつり

昭和 30 年代の園芸ブームに乗って菊作りの愛好者が増え、市民の関心が高まる中、それまでばらばらであった小規模な同好会の活動が一本化され、全市的なイベント「さっぽろ菊花展」が誕生しました。昭和 38 年の第 1 回開催から 4 年を経た第 5 回からは、名称が「さっぽろ菊まつり」に変わり、展示会から市民も催しの参加者となって共に楽しむまつりとなりました。



札幌市の秋の恒例行事として内外に定着したこのまつりは、現在、札幌地下街のオーロラタウンとポールタウン、地下鉄大通駅コンコースを会場として開催しています。「大輪 3 本仕立」、「懸崖仕立」など丹精込めた作品が 4 日間にわたって地下街の通り中央にずらりと並び、その数は毎年、約 8 百点に達します。

また、平成 14 年から、菊づくり愛好者の裾野を広げ、より多くの方が菊まつりに出展できるように、菊づくり講習会を実施しています。

(URL) <http://www.sweb.co.jp/kanko/kiku/>

2007 さっぽろ菊まつりの開催概要

期 間	平成 19 年 10 月 31 日（水）～11 月 3 日（土・祝）〔4 日間〕
会 場	さっぽろ地下街オーロラタウン・ポールタウン、地下鉄大通駅コンコース
行 事 等	菊花プレゼント、菊花展、初心者相談コーナー、菊づくり講習会、菊オブジェ
観 客 数	140 万人
出 展 数	914 点

(6) さっぽろホワイトイルミネーション

昭和 56 年に、秋の観光シーズンと「さっぽろ雪まつり」をつなぐイベントとして始められ、当初は大通公園の西 2 丁目のみを会場に 1,048 個の電球からスタートしました。現在は、大通公園と駅前通りを会場とするに至り、37 万個もの電球が飾られたシンボルオブジェや立木が東西・南北両方向に街を貫きます。

27 回からは、南一条通り・さっぽろプロムナードが新会場として加わりました。



(URL) <http://www.sweb.co.jp/kanko/white/>

【第 28 回さっぽろホワイトイルミネーションの開催概要】

会 期	大通公園会場 [大通西 1～8 丁目]	平成 20 年 11 月 28 日(金)～ 平成 21 年 1 月 4 日(日) 38 日間
	駅前通り会場 [北 4 条～南 4 条]	平成 20 年 11 月 28 日(金)～ 平成 21 年 2 月 11 日(水・祝) 76 日間
	南一条通り会場 [南 1 西 1～西 3]	平成 20 年 11 月 28 日(金)～ 平成 21 年 2 月 11 日(水・祝) 76 日間
点 灯 時 間	16:30～22:30 (予定) (12 月 23、24、25 は 24:00 まで)	
総 電 球 数	40 万個 (予定)	
行 事 等	ミュンヘン・クリスマス市 in Sapporo 大通西 2 丁目 11 月 28 日(金)～12 月 24 日(日)(水)	

2 札幌でのコンベンション開催状況

(1) 札幌での主なコンベンション開催状況

(単位：件、%)

年 度	合 計		国際大会	全国大会	全道大会
	件 数	前年比(%)	件 数	件 数	件 数
15年度	608	89.4	39	198	371
16年度	842	138.5	41	92	709
17年度	872	103.6	33	89	750
18年度	911	104.5	64	222	625
19年度	952	104.5	67	112	773

(注) 関係機関、市内各大学各種団体に照会し、回答のあったものについて集計。

(2) 札幌コンベンションセンター稼働率（平成19年度）

	利用日(日)	稼働(%)
大ホール	272	81.4
特別会議場	171	51.2
中ホール	254	76.0
小ホール	235	70.4
会議室(15室)	278	83.0

総来場者数	329,280 人
-------	-----------

(注) 稼働率は、営業日数337日で計算。

参 考

国際コンベンション開催状況の他都市との比較

(単位：件)

2004年（平成16年）			2005年（平成17年）			2006年（平成18年）		
順位	都 市	件 数	順位	都 市	件 数	順位	都 市	件 数
1	東京(23区)	733	1	東京(23区)	742	1	東京(23区)	744
2	大阪	254	2	大阪	249	2	京都	277
3	京都	224	3	名古屋	236	3	福岡	274
4	名古屋	193	4	京都	224	4	大阪	237
5	福岡	178	5	福岡	180	5	名古屋	194
6	神戸	172	6	神戸	177	6	神戸	183
7	横浜	156	7	横浜	159	7	横浜	162
8	千里地区	130	8	千里地区	127	8	千里地区	146
9	札幌	92	9	札幌	99	9	札幌	127
10	つくば地区	78	10	つくば地区	88	10	つくば地区	94

(注) 「千里地区」とは豊中市、吹田市、茨木市、高槻市、箕面市を指す。

「つくば地区」とはつくば市、土浦市を指す。

<資料> 日本政府観光局（JNTO）コンベンション統計

第5章 参考資料

1 観光施設の利用状況

(1) 主な観光施設入場者数

(単位：人)

施設名	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	前年度比
サッポロさとらんど	345,220	262,390	478,040	732,735	870,170	118.8%
モエレ沼公園	551,246	420,013	708,410	831,350	778,210	93.6%
滝野すずらん丘陵公園	608,102	644,874	586,416	587,072	624,850	106.4%
円山動物園	653,091	630,565	503,846	611,521	609,614	99.7%
藻岩山	495,005	463,724	462,332	502,430	520,857	103.7%
大倉山ジャンプ競技場	618,692	549,203	491,150	462,646	474,295	102.5%
北海道庁旧本庁舎	380,703	435,029	439,879	441,084	445,028	100.9%
テレビ塔展望台	412,593	385,572	369,991	415,121	443,879	106.9%
羊ヶ丘展望台	504,192	448,552	419,666	414,730	396,963	95.7%
札幌芸術の森	238,386	277,673	420,910	277,591	388,888	140.1%
北海道立近代美術館	240,506	374,392	181,449	245,684	366,280	149.1%
札幌市青少年科学館	362,066	306,975	359,959	292,854	351,645	120.1%
J Rタワー展望台 T38	725,095	398,445	320,274	311,815	286,740	92.0%
時計台	241,927	201,667	191,935	208,971	206,661	98.9%
観覧車「ノリア」 ※1				379,916	202,590	53.3%
ISHIYA白い恋人パーク	243,663	317,713	283,258	340,923	191,155	56.1%
北海道開拓の村	218,929	203,914	178,225	168,634	166,344	98.6%
札幌市資料館	182,205	156,884	118,541	69,835	148,717	213.0%
サッポロビール博物館	111,842	93,500	113,100	143,900	146,909	102.1%
サンピアザ水族館	114,910	116,251	115,659	113,647	120,108	105.7%
札幌ウィンタースポーツミュージアム	132,662	130,752	115,671	121,946	108,922	89.3%
北海道開拓記念館	114,426	114,532	80,598	90,744	95,246	105.0%
北海道大学総合博物館	42,431	43,889	75,685	73,993	89,042	120.3%
豊平川さけ科学館	73,196	80,415	76,969	79,506	84,603	106.4%
豊平峡	110,270	93,536	91,978	78,146	81,151	103.8%
札幌ドーム（ドームツアー、展望台等利用者）	128,085	100,314	115,738	69,109	66,246	95.9%
北大附属植物園	76,719	50,544	53,567	60,698	58,859	97.0%
オートリゾート滝野	22,097	46,887	47,104	48,596	50,350	103.6%
札幌市アイヌ文化交流センター	10,133	43,323	39,970	39,621	40,174	101.4%
札幌市下水道科学館	36,664	31,102	34,998	35,248	35,788	101.5%
北海道立文学館	29,381	30,220	21,963	16,812	30,023	178.6%
宮の森ジャンプ競技場	57,942	41,134	10,415	29,132	27,979	96.0%
雪印乳業史料館	20,161	21,494	19,220	29,389	25,836	87.9%
豊平館	22,431	18,319	16,780	16,378	15,047	91.9%
定山溪自然の村	28,121	25,482	25,802	25,223	14,637	58.0%
渡辺淳一文学館	15,676	14,876	14,696	12,723	13,900	109.3%
旧永山武四郎邸	8,929	10,388	4,032	7,255	8,320	114.7%
清華亭	8,794	8,918	8,912	9,100	7,114	78.2%
本郷新記念札幌彫刻美術館	7,158	6,443	7,810	7,367	6,725	91.3%
エドウィンダン記念館	6,412	7,532	8,072	6,014	5,432	90.3%
琴似屯田兵村兵屋跡	8,310	4,325	4,675	4,130	4,719	114.3%
札幌村郷土資料館	2,688	3,145	6,375	3,747	4,180	111.6%
旧黒岩家住宅	3,095	2,842	2,902	3,079	2,510	81.5%
新琴似屯田兵中隊本部	1,247	1,228	1,493	1,170	1,882	160.9%
北海道鉄道技術館	1,072	813	900	1,091	1,498	137.3%
札幌市文化資料室 ※2				1,290	1,027	79.6%

※1 平成18年5月3日オープン

※2 平成18年度から掲載

(2) 主な集客施設観客数

(単位：人)

施設名	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	前年度比 %
札幌コンサートホール Kitara	355,241	382,290	395,257	412,411	440,584	106.8%
札幌ドーム	1,651,099	2,201,963	2,000,417	2,582,677	2,871,479	111.2%

(3) スキー場リフト利用状況

(単位：千人)

年 度	合 計	サッポロ テイネ	ばんけい	藻岩山	真駒内※	フッズ スノー エリア	札幌 国際
15年度	8,861	※2,782	1,364	1,066	843	767	2,039
16年度	9,442	※3,218	1,505	1,296	730	802	1,891
17年度	8,696	2,830	1,449	1,272	575	734	1,836
18年度	8,852	2,928	1,383	1,210	499	747	2,085
19年度	8,410	2,898	1,450	1,309		831	1,922
前年度比 (%)	95.0%	99.0%	104.8%	108.2%		111.2%	92.2%
19年度 営業期間		12/1 ～4/6	12/14 ～4/6	12/16 ～3/28		12/16 ～3/30	11/23 ～5/6

※サッポロテイネのH15、H16の利用回数は、テイネハイランド、テイネオリンピアの合計利用数を掲載しています。

※真駒内スキー場は、平成19年3月に廃業。

2 定期観光バス利用者数（北海道中央バス）

（単位：人）

コース名	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	前年度比(%)	備考
さっぽろ散策バス（路線バス）	48,305	36,034	31,241	36,914	37,791	102.4%	
さっぽろお〜く（路線バス）	—	—	—	—	348,838	—	19年度より調査開始
<春～秋季>							
春の札幌コース	377	231	255	177	148	83.6%	
札幌一日コース	3,703	3,074	3,338	3,435	2,572	74.9%	
すずらんコース	9,818	8,531	10,152	10,580	7,994	75.6%	
もいわ山ハイキングと羊ヶ丘展望台					15	—	19年10月から運行
すすきのニューハーフショー					676	—	19年6月から運行
ライラックコース	4,352	2,473	2,378	2,026	1,585	78.2%	
札幌ドーム見学コース					80	—	19年6月から運行 ※週1回
クラークコース					97	—	19年6月から運行 ※週1回
モエレ沼公園とさっぽろ円山動物園					21	—	19年6月から運行 ※週1回
【2階建てバス】白い恋人パークと場 外市場コース				2,998	2,978	99.3%	18年4月より運行 ※多言語案内ツアー
【2階建てバス】羊ヶ丘展望台コース				4,387	3,879	88.4%	18年5月より運行 ※多言語案内ツアー
【2階建てバス】夜の札幌コース	2,888	3,213	4,113	4,384	3,833	87.4%	※多言語案内ツアー
<冬季>							
初冬の札幌コース	560	396	424	589	523	88.8%	
冬の札幌コース	2,360	2,204	1,979	1,623	1,610	99.2%	
冬のすすきのニューハーフショー					244	—	19年11月より運行
【2階建てバス】白い恋人パークと場 外市場コース				1,630	1,767	—	18年12月より運行 ※多言語案内ツアー
【2階建てバス】羊ヶ丘展望台コース				1,100	1,239	112.6%	18年12月より運行 ※多言語案内ツアー
【2階建てバス】ホワイトイルミネーション と大通公園ドライブ				597	342	57.3%	18年12月より運行 ※多言語案内ツアー

3 札幌発着航空路線

(1) 国内線

平成 20 年 8 月 1 日現在

発着空港	地 方	路 線		航空会社
		都道府県	空 港	
新 千 歳	北 海 道	(宗谷支庁)	稚 内	A N A
			利 尻	A N A
		(網走支庁)	女 満 別	J A L
		(釧路支庁)	たんちょう釧路	H A C
	東 北	青 森 県	青 森	J A L
		岩 手 県	いわて花巻	J A L
		宮 城 県	仙 台	J A L A N A
		秋 田 県	秋 田	J A L
		山 形 県	山 形	J A L
		福 島 県	福 島	A N A
	関 東	千 葉 県	成 田	J A L A N A I B X
		東 京 都	羽 田	J A L A N A A D O S K Y
	中 部	新 潟 県	新 潟	A N A
		富 山 県	富 山	A N A
		石 川 県	小 松	A N A
		長 野 県	信州まつもと	J A C
		愛 知 県	中 部	J A L A N A
	近 畿	大 阪 府	伊 丹	J A L A N A
			関 西	J A L A N A
		兵 庫 県	神 戸	J A L A N A
	中 国	島 根 県	出 雲	J A L
		岡 山 県	岡 山	A N A
		広 島 県	広 島	J A L A N A
	四 国	徳 島 県	徳 島	J A L
	九 州	福 岡 県	福 岡	J A L A N A
丘 珠	北 海 道	(渡島支庁)	函 館	A N A H A C
		(稚内支庁)	稚 内	A N A
		(根室支庁)	根室中標津	A N A
		(釧路支庁)	たんちょう釧路	A N A H A C
		(網走支庁)	女 満 別	A N A

注) 航空会社欄の JAL は日本航空、ANA は全日本空輸、ADO は北海道国際航空、SKY はスカイマーク、IBX は IBEX エアラインズ、HAC は北海道エアシステム、JAC は日本エアコミューターを示す。

※休航中の路線を除く。

(2) 国際線

平成 20 年 8 月 1 日現在

発着空港	路 線	航 空 会 社	便 数
新 千 歳	北 京	中国国際航空	週 2 便
	大 連	中国南方航空	週 2 便
	グ ア ム	コンチネンタル航空	週 2 便
	香 港	キャセイパシフィック航空	週 4 便
	釜 山	大韓航空	週 3 便
	ソ ウ ル	大韓航空	週 7 便
	上 海	中国東方航空	週 3 便
	台 北	エバー航空	週 7 便
		チャイナエアライン	週 6 便
	ユジノサハリンスク	サハリン航空	週 1 便

4 気象概況

(札幌管区気象台発表の数値を基礎に集計)

年 度	気温 (℃)			日照 時間 (時間)	降水量 (mm)	降雪 量 (cm)	寒暖日数 ¹⁾			
	平均	最高	最低				真夏日	夏日	冬日	真冬日
平 年 ²⁾	8.5	—	—	1,774.8	1,127.6	630	8	46	130	48
平成 15 年度	9.1	29.1	-11.0	1,752.6	1,027.5	386	0	34	118	30
16 年度	9.3	33.2	-11.7	1,637.0	1,188.5	610	14	44	122	52
17 年度	9.0	31.6	-12.3	1,668.2	1,176.0	558	9	52	107	53
18 年度	9.4	32.8	-9.4	1,732.6	1,122.5	565	14	44	118	28
19 年度	9.2	34.2	-13.2	1,816.4	968.0	427	10	54	122	45
平成 19 年 4 月	6.3	19.6	-0.8	174.3	57.5	4	—	—	4	—
5 月	12.5	26.4	5.9	184.0	87.0	—	—	1	—	—
6 月	18.8	28.7	9.4	223.4	38.0	—	—	11	—	—
7 月	19.6	30.8	13.3	228.8	45.0	—	1	9	—	—
8 月	23.5	34.2	16.0	165.7	65.5	—	8	24	—	—
9 月	19.1	31.1	9.0	125.1	193.5	—	1	9	—	—
10 月	11.7	22.3	2.4	150.0	66.5	—	—	—	—	—
11 月	3.9	16.2	-6.1	118.5	75.0	10	—	—	15	2
12 月	-0.6	6.6	-7.4	84.0	86.0	63	—	—	29	5
平成 20 年 1 月	-4.3	1.8	-12.6	91.6	111.0	184	—	—	31	23
2 月	-3.4	6.3	-13.2	108.8	111.0	145	—	—	29	15
3 月	3.3	15.1	-6.6	162.2	32.0	21	—	—	14	—

1) 真夏日とは最高気温が 30.0℃以上の日、夏日とは最高気温が 25.0℃以上の日、冬日とは最低気温が 0.0℃未満の日、真冬日とは最高気温が 0.0℃未満の日をいう。

2) 1971 年から 2000 年までの平均値。

5 札幌観光のあゆみ

年 度	沿 革
大正 11 (1922) 年	市制施行。
昭和 2 (1927) 年	公会堂として豊平館新館完成。
6 (1931) 年	大倉山シャンツェ竣工。
11 (1936) 年	札幌観光協会設立。
12 (1937) 年	札幌－東京間定期航空開始。
21 (1946) 年	定山溪観光協会設立。
25 (1950) 年	第 1 回さっぽろ雪まつり開催。
26 (1951) 年	円山動物園開園。
28 (1953) 年	札幌－千歳間（国道 36 号線）弾丸道路舗装完成。
29 (1954) 年	第 1 回狸まつり、さっぽろ夏まつり開催。
32 (1957) 年	豊平館、中島公園内に移築。テレビ塔完成。
33 (1958) 年	藻岩山観光自動車道、もいわ山ロープウェイ営業開始。
34 (1959) 年	第 1 回さっぽろライラックまつり開催。ポートランド市と姉妹都市提携調印。羊ヶ丘展望台開設。
35 (1960) 年	市民の投票により札幌の花（スズラン）、木（ライラック）、鳥（カッコウ）を決定。
38 (1963) 年	第 1 回さっぽろ菊まつり開催。
40 (1965) 年	第 1 回定山溪かっぱ祭り開催。第 1 回すすきの祭り開催。
45 (1970) 年	時計台が重要文化財に指定される。90m 級大倉山ジャンプ競技場完成。
46 (1971) 年	北海道開拓記念館オープン。
47 (1972) 年	第 11 回冬季オリンピック大会開催。政令指定都市へ移行し、7 区役所開設。ミュンヘン市と姉妹都市提携調印。豊平峡ダム完成。
48 (1973) 年	札幌市資料館オープン。札幌観光協会社団法人化。
52 (1977) 年	「札幌の観光（観光白書）」発行開始。
53 (1978) 年	「カッコウの窓口」開設。すすきの観光協会設立。
54 (1979) 年	緑のセンター開設。25 年ぶりに豊平川にサケ遡上。
55 (1980) 年	瀋陽市と友好都市提携調印。冬のスポーツ博物館オープン。本市の観光キャッチフレーズ「好きです。Sapporo」がロゴマークとともに決定。
56 (1981) 年	青少年科学館オープン。第 1 回さっぽろホワイトイルミネーション開催。
58 (1983) 年	北海道開拓の村オープン。百合が原公園開園。
59 (1984) 年	第 1 回札幌国際見本市開催。豊平川さけ科学館オープン。
61 (1986) 年	「国際観光モデル地区」の指定を受ける。第 1 回アジア冬季競技大会、'86 さっぽろ花と緑の博覧会開催。札幌芸術の森一部オープン。
62 (1987) 年	第 1 回さっぽろ国際フェスティバル開催。
平成元 (1922) 年	定山溪ダム完成。はまなす国体開催。円山動物園に「タスマニア館」オープン。厚別・手稲区の誕生により、9 区体制へ移行。
2 (1990) 年	「さっぽろ雪まつり」の中島会場を第 4 会場として設置。ノボシビルスク市と姉妹都市提携調印。PMF（パシフィック・ミュージック・フェスティバル）初開催。「観光基本計画」策定。

年 度	沿 革
3 (1991) 年	ユニバーシアード冬季大会開催。定山溪に「メルヘンかっぱ像」20 体設置。第 1 回定山溪もみじ大茶会開催。
4 (1992) 年	政令指定都市移行 20 周年記念事業メモリアルコンサート「さっぽろの歌」開催。定山溪観光協会社団法人化。観光客誘致キャンペーン「さっぽろの夕べ」初開催。第 1 回 Y O S A K O I ソーラン祭り開催。
5 (1993) 年	大通公園（8－9 丁目）連続化実現。第 1 回さっぽろふれあいフェスタ開催。すすきの観光協会社団法人化。
6 (1994) 年	「国際会議観光都市」の認定を受ける。リンケージ・アップフェスティバル初開催。阪神淡路大震災のため「さっぽろ雪まつり」の花火大会などを自粛。
7 (1995) 年	円山動物園にキッドランドと鳥類館オープン。サッポロさとらんど一部オープン。「おおば比呂司記念室」札幌市資料館内にオープン。Y O S A K O I ソーラン祭り普及振興会設立。札幌市観光産業経済効果調査結果発表。
8 (1996) 年	「さっぽろリンクルバス」登場。「石山緑地」完成。定山溪温泉「健康保養地」宣言。さっぽろホワイトイルミネーション「日本建築美術工芸協会賞 特別賞」受賞。2002 年ワールドカップサッカー大会開催決定。青少年科学館リニューアルオープン。
9 (1997) 年	下水道科学館、札幌コミュニティドーム（愛称・つどーむ）、札幌コンサートホール「Kitara」オープン。道央三温泉協議会設立。札幌市営観光バスを廃止。清田区の誕生により 10 区体制へ移行。
10 (1998) 年	Y O S A K O I ソーラン祭り組織委員会設立。円山動物園「動物センター」、渡辺淳一文学館、定山溪自然の村、モエレ沼公園オープン。さっぽろ夏まつりビアガーデンに地ビール登場。北海道国際航空（エア・ドゥ）就航。
11 (1999) 年	さっぽろ羊ヶ丘展望台「羊ヶ丘ウエディングパレス」、北海道立総合体育センター（愛称・きたえーる）オープン。
12 (2000) 年	大倉山ジャンプ競技場リニューアルオープン。札幌ウィンタースポーツミュージアムオープン
13 (2001) 年	札幌ドーム「Hiroba」オープン。
14 (2002) 年	2 0 0 2 F I F A ワールドカップ開催（札幌ドームで 3 試合開催）。ミュンヘン・クリスマス市 in Sapporo 開催。札幌駅南口に J R タワーオープン。札幌コンベンションセンター竣工。
15 (2003) 年	札幌コンベンションセンターオープン。
16 (2004) 年	さっぽろ赤レンガカフェ、さっぽろら〜めん共和国、千歳鶴ミュージアム・アネックスオープン。サッポロビール博物館リニューアルオープン。
17 (2005) 年	さっぽろライラックまつりで「ライラックワインガーデン」開催。第 1 回藻岩山の日。モエレ沼公園グランドオープン。定山源泉公園オープン。サッポロさとらんどがさっぽろ雪まつりの第 2 会場に。
18 (2006) 年	ノリアオープン。さっぽろスイーツのコンペティションスタート。藻岩山にて、BAR THE ICE 開催。FIS ノルディックスキー世界選手権札幌大会開催。北海道さっぽろ「食と観光」情報館オープン。
19 (2007) 年	平岡公園の梅林ライトアップ事業実施。「SAPPORO CITY JAZZ」初開催。観光文化情報ステーションオープン。さっぽろ雪まつり大通会場にスケートリンク設置。

6 平成20年度のイベントカレンダー

月	イベント名	日程	内容	会場	問合せ先 (市外局番011)
5月	溪流鯉のぼり	4月12日(土) ～5月11日(日)	定山溪の溪流に約350匹の鯉のぼりを掲揚する定山溪温泉の春の風物詩。	定山溪スポーツ公園ほか	定山溪温泉旅館組合 598-2537
	第50回さっぽろライラックまつり	5月21日(水) ～25日(日)	ライラック苗木のプレゼント、記念植樹、ワインガーデン、野だて、喫茶コーナー、音楽隊演奏など、札幌の木ライラックが満開の大通公園の春のイベント。	大通公園	実行委員会 211-2376
	藻岩山の日	5月31日(土)	標高531mにちなみ、ロープウェイ無料運行、クリーンハイキング、記念写真展などのイベントを行う。	藻岩山	事務局 211-2376
6月	第17回YOSAKOIソーラン祭り	6月4日(水) ～8日(日)	自由で独創的な激しいリズムによって約300チーム、4万人以上が乱舞する。飛び入り参加ができるワオドリソーランもあります。	大通公園ほか	組織委員会 231-4351
	北海道神宮例祭	6月14日(土) ～16日(月)	御御輿、山車、露店など、昔ながらのお祭り。「郷土の日」を実感する通称「札幌祭り」です。	北海道神宮・札幌市内	北海道神宮 611-0261
	花フェスタ2008札幌	6月21日(土) ～6月29日(日)	パビリオンでのラン展示他、立体花壇や花モニュメントで初夏の札幌の街を美しく彩ります。	大通公園	事務局 272-3987
7月	PMF（パシフィック・ミュージック・フェスティバル2007）	7月5日(土) ～31日(木)	若手音楽家を育成するとともに、音楽教育を通じて音楽文化の普及・発展をめざす国際教育音楽祭。クラシックを野外でのピクニックコンサートなどでも楽しめます。	芸術の森、コンサートホールKitaraほか	組織委員会 242-2211
	豊平川花火大会	7月25日(金) 8月1日(金)	7月25日(金)は道新・UHB花火大会。 8月1日(金)は朝日新聞・HTB花火大会。	豊平川南大橋付近	北海道新聞社、朝日新聞社 道新210-5732 朝日特設 0180-991-121
	第26回札幌市長杯宮の森サマージャンプ大会	7月19日(土)	国内のトップ選手が集うノルディックスキージャンプ競技の大会。冬だけでなく夏でもジャンプ競技を観戦することができます。	宮の森ジャンプ競技場	札幌スキー連盟 221-1661
	第9回札幌市長杯大倉山サマージャンプ大会	7月20日(日)		大倉山ジャンプ競技場	

	第34回豊平川イカダ下り	7月20日(日)	市民のチームが、手製のイカダで川を流下ります。ユニークなイカダやコスチュームでのパフォーマンスが楽しい。	豊平川幌平橋下流	実行委員会事務局 (中央区役所地域振興課内) 231-2400 内線256
	第55回さっぽろ夏まつり	7月21日 (月・祝)～8月20日(水)	約1ヶ月間、大通公園を会場に、ビアガーデン(7月21日～8月15日)や、北海盆踊り(8月14日～20日)、さっぽろバザールなど、様々なイベント等で夏を楽しみます。	大通公園	実行委員会 211-2376
	第55回狸まつり	7月21日 (月・祝)～8月20日(水)	さっぽろ夏まつりに併せて行われる、狸小路の夏まつり。歴史ある商店街の情緒ある祭り風情は、とても素敵です。	狸小路商店街	商店街振興組合 241-5125
	カルチャーナイト2008	7月25日(金)	普段は夕方で閉館する文化施設や民間施設で夜間開放を行う。普段はできない貴重な文化体験ができます。	北一条通りと札幌駅前通りを軸としたエリア	実行委員会 261-8633
	SAPPORO CITY JAZZ 2008	7月19日(土)～8月10日(日)	緑が多い札幌の特徴を活かした都市型ジャズフェスティバル。ゲストミュージシャンによるワークショップを行うほか、イベント運営にボランティアスタッフが参加するなど、音楽を通じた芸術文化の振興を市民と一緒にを行います。ミュージックテント「ホワイトロック」などで、様々なライブを行います。	大通公園、芸術の森など	実行委員会 592-4125
	第5回札幌市長杯荒井山ジュニアサマージャンプ大会	7月29日(火)	小中学生によるサマージャンプ競技を観戦することができます。	荒井山シャンツェ	札幌スキー連盟 221-1661
8月	第5回すすきののはしご酒大会	8月6日(水)	チケット交換で渡されるラリーカードを持ち、指定される5軒の飲食店を、スタートの18時30分～ゴール締め切りの20時30分までにハシゴするというウォークラリー。	すすきの地区	すすきの観光協会 518-2005
	定山溪温泉湯のにぎわいフェア	8月1日(金)～3日(日)	朝市、定山溪に工房をもつ陶芸家や木彫家による体験教室、各種ウォーキング、健康チェックステーション、ロビーコンサートなどが行われます。	定山溪温泉街	定山溪観光協会 598-2012

8月	第44回すすきの祭り	8月7日(木)～9日(土)	屋台、花魁道中、みこし渡御、ワゴンセールなど、すすきのがー大イベント会場に。綺麗な花魁は必見です。	すすきの地区	すすきの観光協会 518-2005
	灯籠流し	8月15日(金)	毎年8月15日の行事。	鴨々川護国神社付近	妙心寺 511-7634
	2008北海道マラソン	8月31日(日)	国内・外の招待選手をはじめ一般ランナー合せ約3,000人がフィニッシュ地点の中島公園を目指します。札幌市内各地で選手の力走をみることができます。	真駒内屋外競技場スタート、中島公園フィニッシュ	北海道新聞社 232-0840
9月	第8回「だい・どん・でん！」	9月6日(土)～7日(日)	札幌駅前通りの歩行者天国で、大道芸・アート・音楽のあらゆるジャンルのパフォーマンスが行われます。	駅前通（歩行者天国）	札幌都心にぎわいづくり実行委員会事務局 788-8588
	第31回北海道を歩こう	9月7日(日)	真駒内からスタートし支笏湖まで33キロを歩くウォーキングイベント。	真駒内～支笏湖	札幌市スポーツ振興事業団 530-5550
	さっぽろタパス2008	9月7日(日)～11日(木)	札幌の街の中を回って飲食店などを食べ歩くイベント。ポノタパスというチケット綴り（5枚/9枚）を使って、参加店をめぐり、各店の特色あるタパス（おつまみ）と飲み物を楽しめます。	大通、すすきの、円山、藻岩山・山鼻地区など	実行委員会 210-4167
	札幌国際短編映画祭	9月11日(木)～15日(月・祝)	札幌市において将来性が期待されるデジタルコンテンツ分野の中でも、短編映画（ショートフィルム）の産業化を推進するため、国際映画祭を札幌で開催します。	札幌東宝プラザ他	SAPPOROショートフェスト実行委員会 817-8924
	アシリチェップノミ （新しい鮭を迎える儀式）	9月13日(土)	アイヌ民族の伝統行事「新しい鮭迎えの儀式」で、途絶えてからおおよそ100年ぶりに昭和57年から復活した。	豊平川南7条大橋上流左岸河川敷（南7条西1丁目）	札幌アイヌ文化協会 682-5407
	さっぽろオータムフェスト2008	9月19日(金)～10月5日(日)	食をメインテーマとした秋の豊穣祭。北海道・札幌を代表する食・グルメを中心に、道内各地から旬の素材、ご当地グルメを一同に取り揃えます。北海道の秋の実りを満喫できる新しいお祭り。	大通公園	実行委員会 211-2376
	簾舞通行屋（みすまいつこうや）まつり	9月28日(日)	札幌市指定文化財・旧黒岩家住宅で催される簾舞地域の交流イベント。	旧黒岩家住宅（旧簾舞通行屋）	実行委員会 596-2059

10月	第33回札幌マラソン大会	10月5日(日)	小学生の2kmから大人の21kmまで幅広く参加できる市民マラソン大会。	真駒内屋外競技場スタート	札幌市スポーツ振興事業団 530-5550
	第18回定山溪もみじ大茶会	10月13日(月・祝)	定山溪温泉内の6会場(ホテル)で、本格的なお茶会が開かれます。	定山溪温泉	定山溪観光協会 598-2012
	2008さっぽろ菊まつり	10月31日(金)～11月3日(月・祝)	大輪や懸崖など、市民の自慢の力作が地下街に大々的に展示されます。	札幌地下街	実行委員会 211-2376
11月	さっぽろアートステージ2008	11月1日(土)～30日(日)(予定)	札幌市の芸術文化月間と位置付け、演劇、ストリートライブ、小中高校生の音楽祭等、文化的事業を集中的に行います。	市内各所	実行委員会 211-2261
	第28回さっぽろホワイトイルミネーション	大通 11月28日(金)～21年1月4日(日)駅前通り、南一条通り 11月28日(金)～21年2月11日(水・祝)	メインオブジェ、立木装飾など、幻想的なイルミネーションが、札幌駅前通、大通公園、南一条通りを鮮やかに彩ります。	大通公園・札幌駅前通・南一条通り	札幌観光協会 211-3341
	ミュンヘン・クリスマス市 in Sapporo	11月28日(金)～12月24日(水)	姉妹都市ミュンヘンのクリスマス市を大通公園に再現します。異国情緒豊かで、本場ドイツのワインやビール、ソーセージなど特産品が味わえます。	大通公園2丁目	クリスマス市実行委員会 211-2032
12月	第60回さっぽろ雪まつり	21年2月5日(木)～11日(水・祝)	いまや、世界的にも有名になっている、雪国最大のイベント。大小合わせて約300基の雪氷像が、大通公園やすすきのの会場で堪能できます。雪で出来ているとは思えない精巧な大雪像は、高さ15メートルにも及びます。	大通公園・すすきの など	実行委員会 211-2376

※ 日程・イベント名等は予定です。変更・中止の可能性がありますので、ご注意ください。